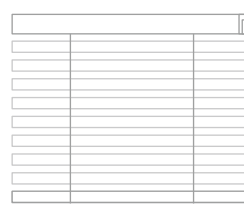




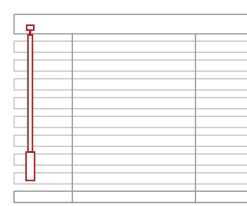
Kiri Wood Blinds / WRC Blinds / Grandwood Blinds

NORMAN® ウッドブラインドシリーズ(横型)仕様書

桐ウッドブラインド
ウエスタンレッドシダーブラインド
グランドウッドブラインド



ループコードタイプ



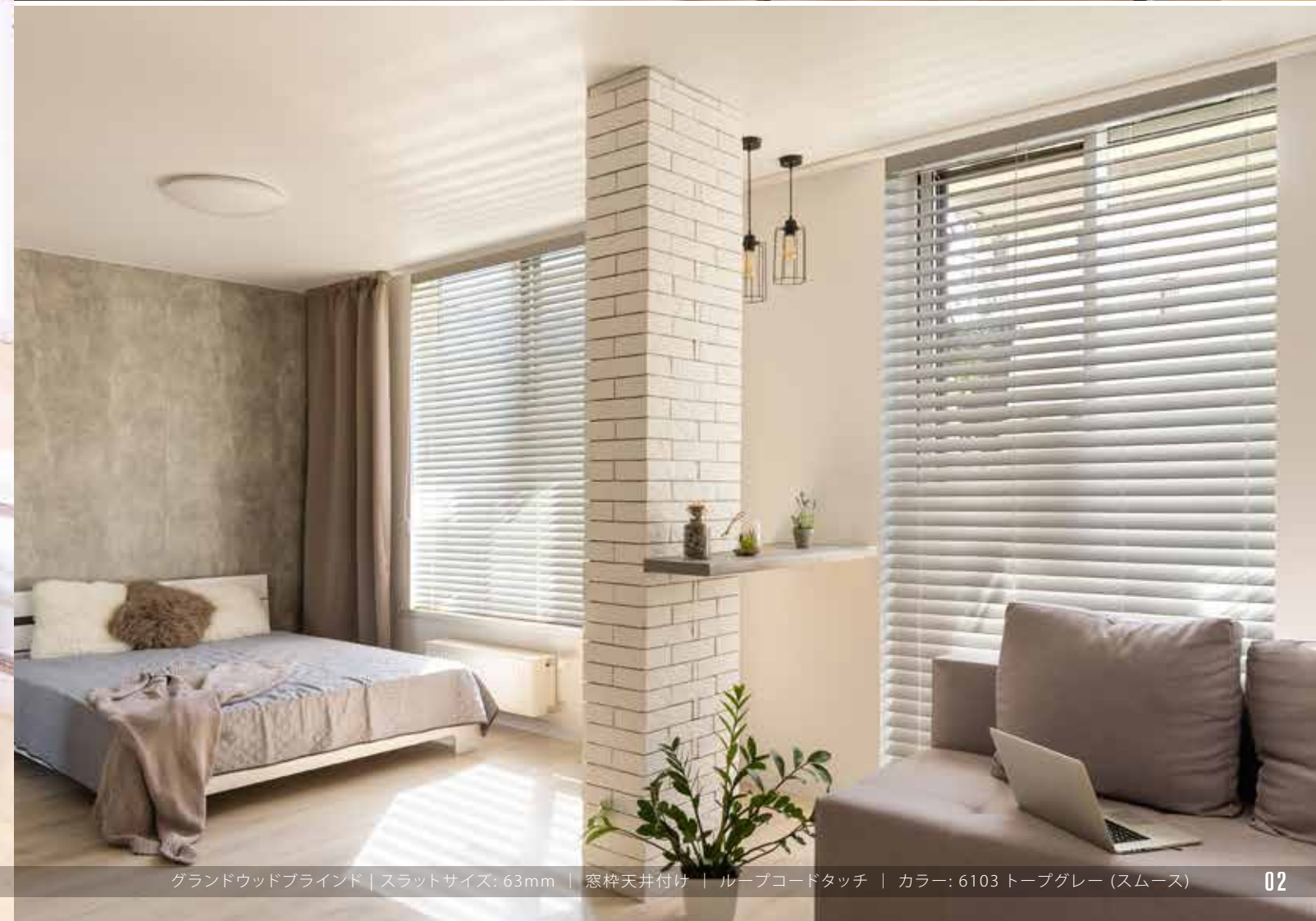
コードレスタイプ

施工事例

あらゆる部屋を
あなた色のイメージで



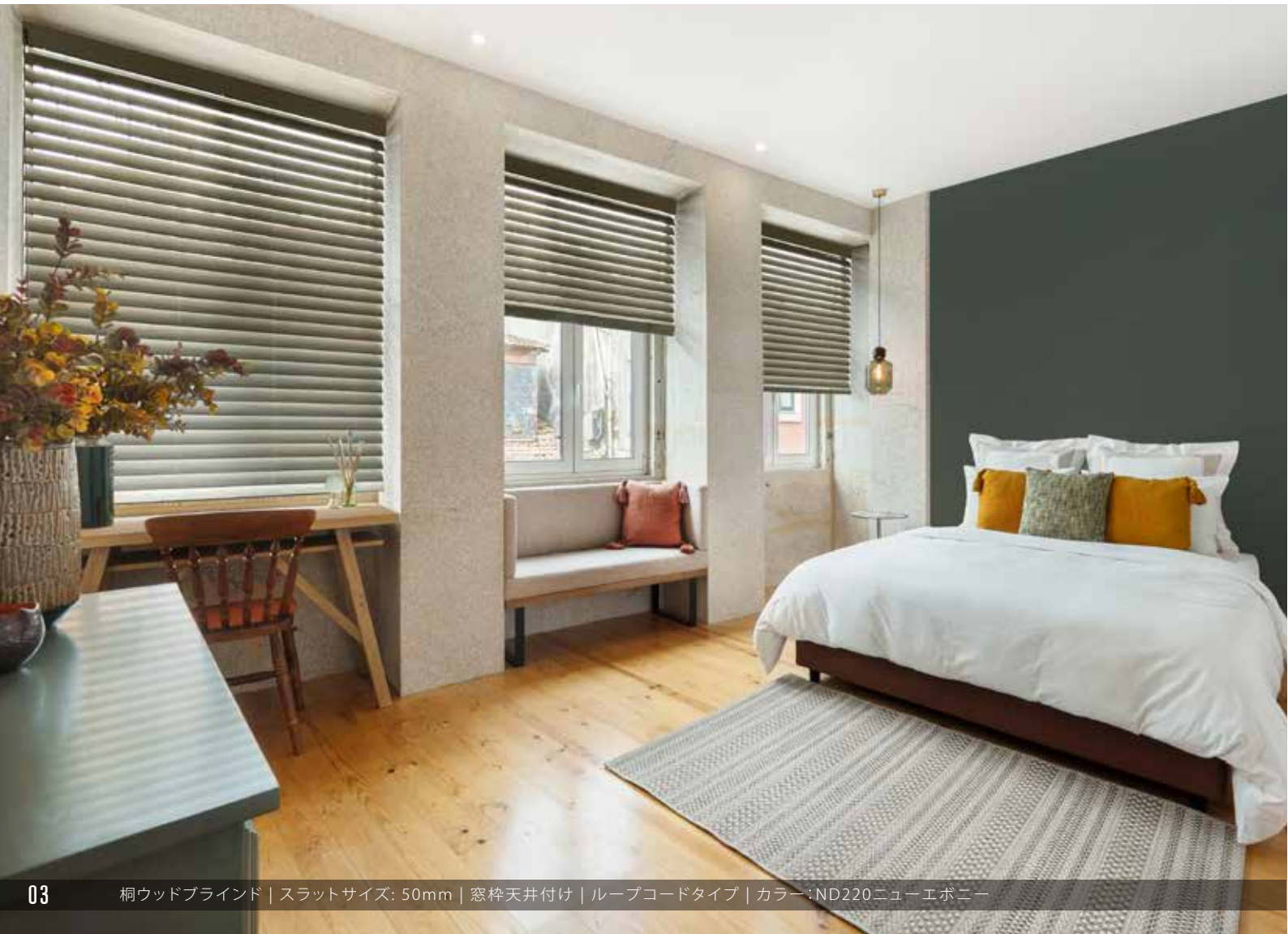
ウエスタンレッドシダーブラインド | スラットサイズ: 63mm | 窓枠天井付け | ループコードタイプ



グランドウッドブラインド | スラットサイズ: 63mm | 窓枠天井付け | ループコードタッチ | カラー: 6103 トープグレー (スムーズ)



桐ウッドブラインド | スラットサイズ: 50mm | 窓枠天井付け | コードレスタイプ | カラー: ND110 ライムホワイト



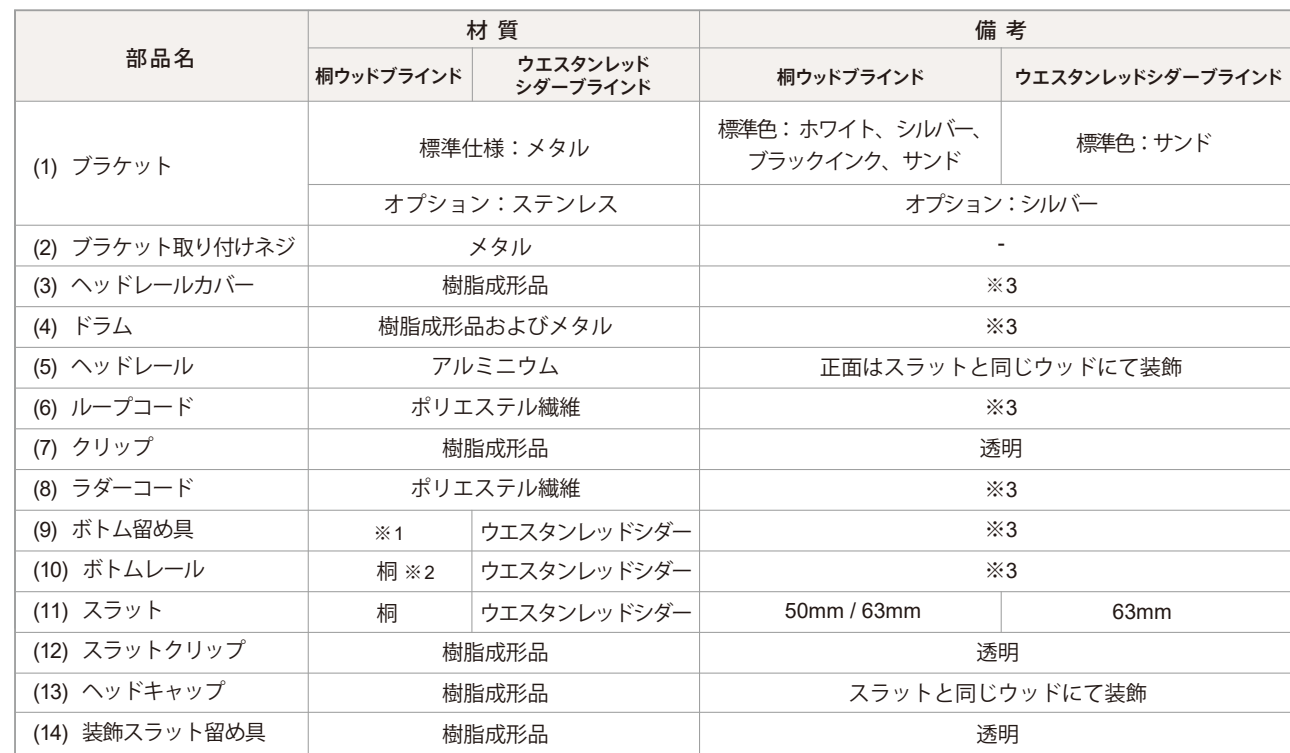
桐ウッドブラインド | スラットサイズ: 50mm | 窓枠天井付け | ループコードタイプ | カラー: ND220 ニューエボニー

目次

施工事例	01		
ループコードタイプ、ループコードタッチ		コードレスタイプ	
1. 仕様と構造	06	1. 仕様と構造	28
1-1. 桐ウッドブラインド ウエスタンレッドシダーブラインド	06	1-1. 桐ウッドブラインド ウエスタンレッドシダーブラインド	28
1-2. グランドウッドブラインド	07	1-2. グランドウッドブラインド	29
1-3. 操作メカ	08	1-3. 操作メカ	30
1-4. 付属部品の数量	09	1-4. 付属部品の数量	31
1-5. ラダーコード、昇降コードの数	09	1-5. ラダーコード、昇降コードの数	31
1-6. 製品重量の目安	10	1-6. 製品重量の目安	32
1-7. 製品量代算出式	10	1-7. 製品量代算出式	32
2. オプション	11	2. オプション	33
2-1. カットアウト	11	2-1. カットアウト	33
3. 取り付けタイプ	12	3. 取り付けタイプ	34
4. 取り付け条件	12	4. 取り付け条件	34
4-1. 窓枠天井付け(鴨居付け)/浅天井付け	12	4-1. 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け	34
4-2. 窓枠正面付け	13	4-2. 窓枠正面付け	35
4-3. 壁面付け	14	4-3. 壁面付け	36
4-4. カーテンボックス付け	15	4-4. カーテンボックス付け	37
4-5. カーテンレール付け	15		
5. 必要寸法一覧	16	5. 必要寸法一覧	38
6. 採寸方法	17	6. 採寸方法	39
6-1. 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け	17	6-1. 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け	39
6-2. 窓枠正面付け	17	6-2. 窓枠正面付け	39
6-3. 壁面付け	18	6-3. 壁面付け	40
6-4. カーテンボックス付け	19	6-4. カーテンボックス付け	41
6-5. カーテンレール付け	20		
6-6. 大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合 (連窓仕様)	20		
7. 取り付け方法	21	7. 取り付け方法	42
7-1. 取り付けの手順	21	7-1. 取り付けの手順	42
7-2. ブラケットの取り付け	21	7-2. ブラケットの取り付け	42
7-3. ヘッドレール正面装飾スラット留め具の取り付け	23	7-3. ブラインドの取り付けと取り外し	44
7-4. ブラインド本体を取り付け	23		
7-5. ヘッドレール正面装飾スラットの取り付け	24		
7-6. クリップの取り付け	24		
8. 操作方法	25	8. 操作方法	45
8-1. ループコードタイプ	25	8-1. スラットの角度調整	45
8-2. ループコードタッチ	25	8-2. ブラインドを降ろす場合	45
		8-3. ブラインドを上げる場合	45
		8-4. 調光の際に、ボトムレールと一緒に回転しない場合	45
		8-5. ブラインドを上げる際に、指定の位置で止まらない場合	45
		ループコードタイプ、コードレスタイプ共通	
		9. サイズ定義と公差	46
		10. お手入れ方法	46
		11. 製品特性	47
		12. 保証について	49
		13. 発注書	50

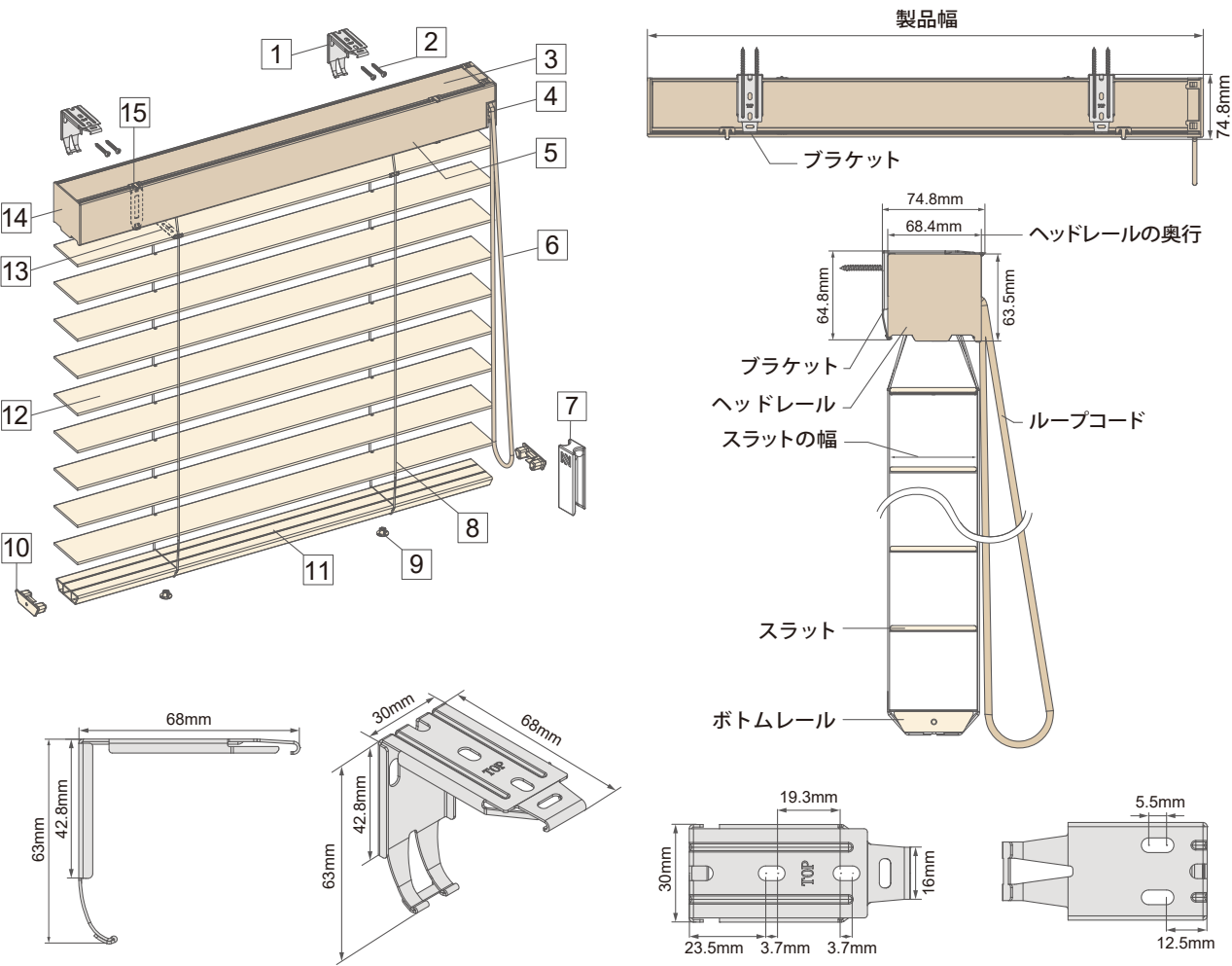


1-1 ■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド —ループコードタイプ、ループコードタッチ



06

1-2 ■ グランドウッドブラインド ループコードタイプ、ループコードタッチ



部品名	材質	備考
(1) ブラケット	標準仕様：メタル	標準色：ホワイト、シルバー、サンド
	オプション：ステンレス	オプション：シルバー
(2) ブラケット取り付けネジ	メタル	-
(3) ヘッドレールカバー	樹脂成形品	※
(4) ドラム	樹脂成形品およびメタル	※
(5) ヘッドレール	アルミニウム	正面はスラットと同素材で装飾
(6) ループコード	ポリエステル繊維	※
(7) クリップ	樹脂成形品	透明
(8) ラダーコード	ポリエステル繊維	※
(9) ボトム留め具	樹脂成形品	※
(10) ボトムキャップ	樹脂成形品	※
(11) ボトムレール	樹脂成形品	※
(12) スラット	樹脂成形品	50mm / 63mm
(13) スラットクリップ	樹脂成形品	透明
(14) ヘッドキャップ	樹脂成形品	※
(15) 装飾スラット留め具	樹脂成形品	透明

※スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。別紙横型ラインド配色表をご参照ください。

1-3 操作メカ

製品名

操作メカ／製作可能寸法

操作位置

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド

■ グランドウッドブラインド

【 ループコードタイプ 】	【 ループコードタッチ 】	【 ループコードタイプ 】	【 ループコードタッチ 】
製品幅450mm～2550mm 製品高さ300mm～3800mm 製作最大面積9.0㎡	製品幅530mm～2550mm 製品高さ300mm～3800mm 製作最大面積9.0㎡	製品幅450mm～2400mm 製品高さ300mm～3800mm 製作最大面積7.0㎡	製品幅530mm～2400mm 製品高さ300mm～3800mm 製作最大面積7.0㎡

(標準仕様)

左操作

右操作

製品高さに応じて、下記表の通り製作します。

【製品高さに対する操作コードの標準長さ】

製品高さ(H) (ご発注の高さ)	～914mm	915mm～ 1218mm	1219mm～ 1523mm	1524mm～ 2133mm	2134mm～ 2799mm	2800mm～ 3800mm
操作コードの長さ	579mm	883mm	1188mm	1493mm	2103mm	2800mm

【操作コードの長さを指定する場合】

- ・設置箇所が高所の場合など、ご要望に合わせて、10ミリ単位で長さを指定できます。
- ・最短の設定可能な長さです。寸法下限：300mm / 公差：0mm～+25mm。

※標準の長さが通常の使用に適しており、あまりに短くすると操作が制約されることがあります。

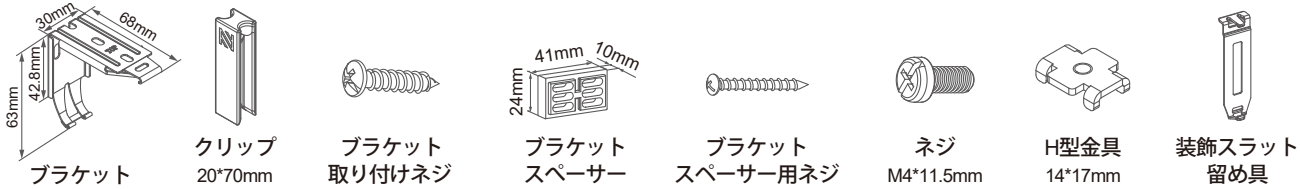
吹き抜け窓や高所の窓など

ご希望の長さ※1

※1 ヘッドレール上端からコード下端まで。

1-4 付属部品の数量

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド ■ グランドウッドブラインド



【カーテンレール付け以外の場合】

製品幅 (mm)	ブラケット	クリップ	壁面付け以外の場合	壁面付けの場合		装飾スラット留め具	
			ブラケット 取り付けネジ	ブラケット スペーサー	ブラケット スペーサー用ネジ	桐・WRC	グランドウッド ブラインド
～940mm	2	1	4	2	4	3	3
941mm～1194mm	3	1	6	3	6	3	3
1195mm～1905mm	4	1	8	4	8	3	3
1906mm～	5	1	10	5	10	3	4

【カーテンレール付けの場合】

製品幅 (mm)	ブラケット	クリップ	M4*11.5mmネジ	14*17mmH型金具	装飾スラット留め具
					桐
～940mm	2	1	2	2	3
941mm～1194mm	3	1	3	3	3
1195mm～1905mm	4	1	4	4	3
1906mm～	5	1	5	5	3

- ※ 上記のブラケットスペーサー数量は、1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
- ※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
- ※ 通常は19mmのネジが付属します。ブラケットスペーサー1連使用時は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジ が付属します。連結時のスペーサー奥行きは2連18mm、3連26mmとなります。
- ※ 仮止め用両面テープ数=ブラケット数*1+ブラケットスペーサー数*2。



1-5 ラダーコード、昇降コードの数

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド

ラダーコードの数						
仕上がり幅 (mm)		～812mm	813～1371mm	1372～1981mm	1982～2438mm	2439mm～
スラット幅 50mm	本数	2	3	4	5	6
仕上がり幅 (mm)		～927mm	928～1371mm	1372～1905mm	1906～2438mm	2439mm～
スラット幅 63mm	本数	2	3	4	5	6
昇降コードの数						
仕上がり幅 (mm)		～812mm	813～1371mm	1372～1981mm	1982～2438mm	2439mm～
スラット幅 50mm	本数	4	5	6	8	10
仕上がり幅 (mm)		～927mm	928～1371mm	1372～1905mm	1906～2438mm	2439mm～
スラット幅 63mm	本数	4	5	6	8	10

※ WRCは63mmスラットのみのみ。

■ グランドウッドブラインド

ラダーコードの数							
仕上がり幅 (mm)		～609mm	610～939mm	940～1270mm	1271～1600mm	1601～1930mm	1931～2260mm
スラット幅50mm	本数	2	3	4	5	6	7
仕上がり幅 (mm)		～609mm	610～939mm	940～1270mm	1271～1600mm	1601～1930mm	1931～2260mm
スラット幅63mm	本数	2	3	4	5	6	7
昇降コードの数							
仕上がり幅 (mm)		～609mm	610～939mm	940～1270mm	1271～1600mm	1601～1930mm	1931～2260mm
スラット幅50mm	本数	4	5	6	8	10	11
仕上がり幅 (mm)		～609mm	610～939mm	940～1270mm	1271～1600mm	1601～1930mm	1931～2260mm
スラット幅63mm	本数	4	5	6	8	10	11

1-6 製品重量の目安

■ 桐ウッドブラインド

単位:kg

部品名		計 算 式	
製品全体 (kg)	ペイント	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.094)×1.08+仕上がり幅(m)×0.31
		スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.102)×1.12+仕上がり幅(m)×0.43
	ステイン	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.094)×0.93+仕上がり幅(m)×0.27
		スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.102)×0.97+仕上がり幅(m)×0.37

- ※ マットフィニッシュ シリーズはステインに含む。
- ※ 桐ウッドブラインドペイントカラーは表記重量より約15%重くなります。
- ※ 数値はあくまでも目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ ウェスタンレッドシダーブラインド

単位:kg

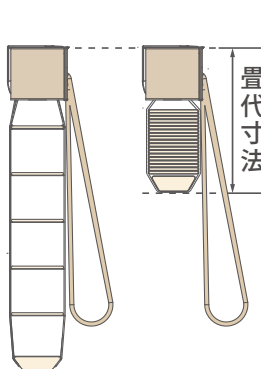
部品名		計 算 式	
製品全体 (kg)	スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.102)×1.227+仕上がり幅(m)×0.255	

■ グランドウッドブラインド

単位:kg

部品名		計 算 式	
製品全体 (kg)	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.094)×1.79+仕上がり幅(m)×0.39	
	スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×1.072+0.5355+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.102)×1.62+仕上がり幅(m)×0.49	

1-7 製品畳代算出式



■ 桐ウッドブラインド

単位:mm

スラット幅	計 算 式
スラット幅 50mm	3.5×(仕上がり高さ (mm) - 94) / 44 + 91
スラット幅 63mm	3.7×(仕上がり高さ (mm) - 102) / 56.7 + 104

■ ウェスタンレッドシダーブラインド

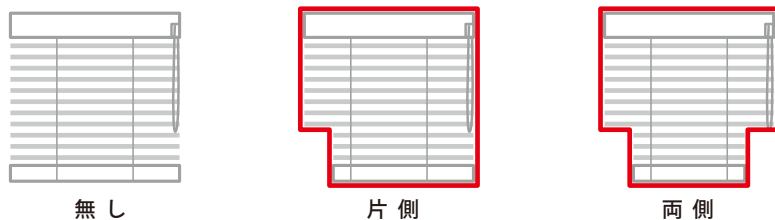
スラット幅	計 算 式
スラット幅 63mm	3.7×(仕上がり高さ (mm) - 102) / 56.7 + 98 + 6

■ グランドウッドブラインド

スラット幅	計 算 式
スラット幅 50mm	3.6×(仕上がり高さ (mm) - 94) / 44 + 100
スラット幅 63mm	3.6×(仕上がり高さ (mm) - 102) / 56.7 + 105

※ 数値はあくまでも目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

2-1 カットアウト



カットアウト採寸方法 F(F1,F2)=窓の最上部からカットアウトの最上部まで。 E(E1,E2)=製品外端からカット部内端まで。

■ 相ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド

Eの範囲	Fの範囲	カットアウト寸法	
3mm～127mm	71mm～製品高さ実寸－9mm	片側	両側
		 FとEをご記入ください(mm)	 F1・E1・F2・E2をご記入ください(mm)

※ スラット残幅が10mm以下の場合は、操作性、耐久性への影響を考慮し、該当スラットを全カットします。

■ グランドウッドブラインド

Eの範囲	Fの範囲	カットアウト寸法	
3mm～114mm	スラット50mm： 71mm～製品高さ実寸－45mm	片側	両側
	スラット63mm： 71mm～製品高さ実寸－58mm	 FとEをご記入ください(mm)	 F1・E1・F2・E2をご記入ください(mm)

※ F(F1,F2)について、カット必要箇所がスラット1枚未満の場合、1枚分の縦幅をカットさせていただきます。

該当箇所下部に光漏れの恐れがありますので、あらかじめご了承ください。

※ ボトムレールは縦幅の途中で裁断することができません。

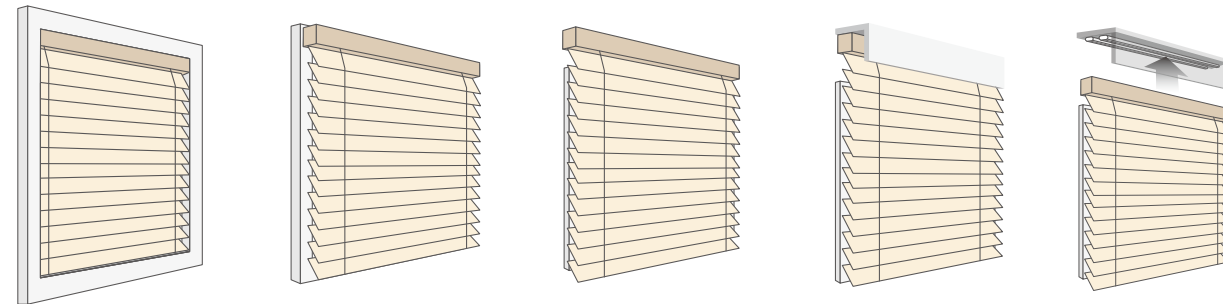
窓枠天井付け(鴨居付け) / 浅天井付け
(窓枠の内側に取り付けの場合)

窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)

壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)

カーテンボックス付け
(カーテンボックス内に
取り付ける場合)

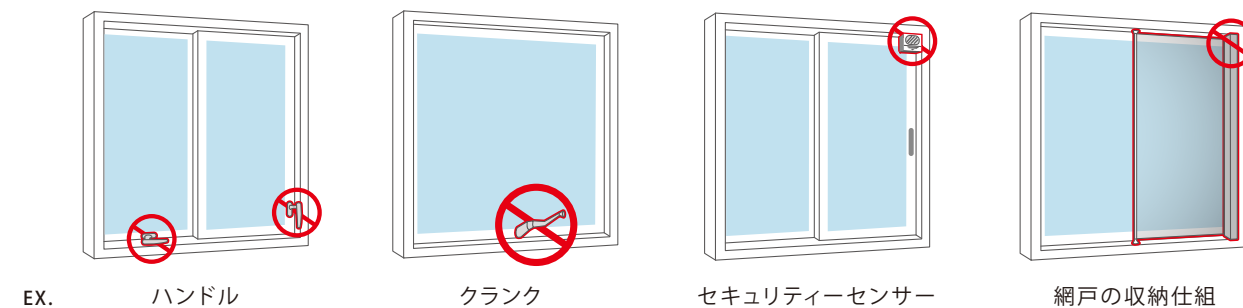
カーテンレール付け
桐ウッドブラインドのみ対応
(窓枠内/カーテンボックス内)



04 取り付け条件

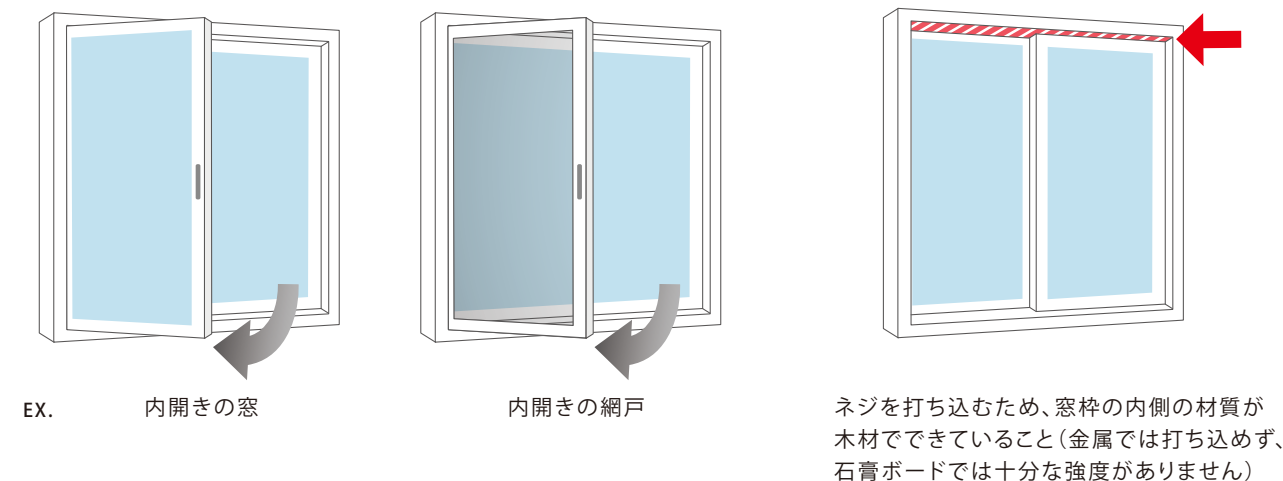
4-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

条件 1 障害物など干渉するものがないこと



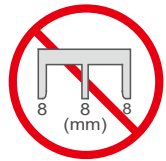
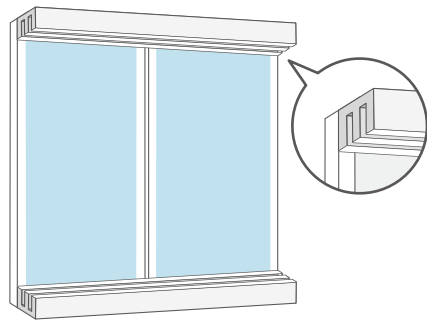
条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

条件 3 下地が木材であること



条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品操作の際干渉する物等には十分で注意ください。

【鴨居付け】



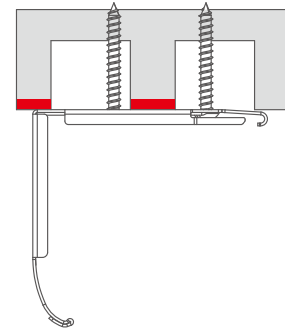
薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

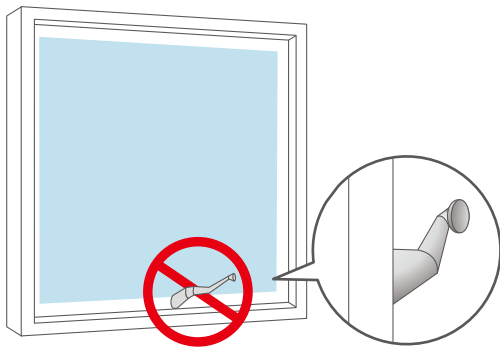
- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、ブラインドのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わない場合がございます。
- 下地の厚さが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

取り付けの側面図

(おすすめの取り付け方法)



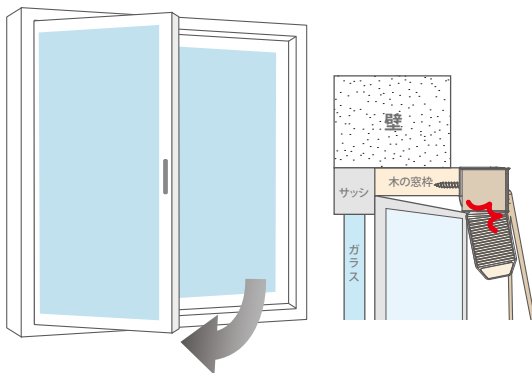
4-2 窓枠正面付け



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

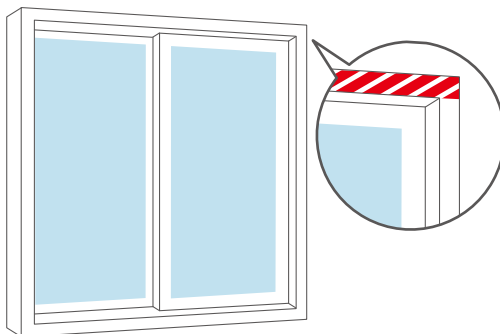
外に突出した取っ手などがある場合は、ブラインドの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにブラインドを収めると、扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)

条件 3 下地が木材であること

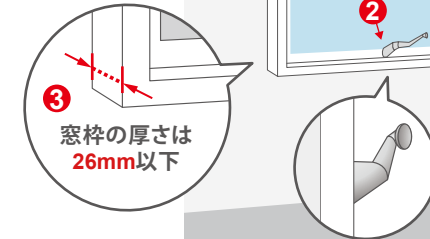


ネジを打ち込むため、取り付け箇所の材質が木材でできていること。(金属では打ち込まず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

4-3 壁面付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

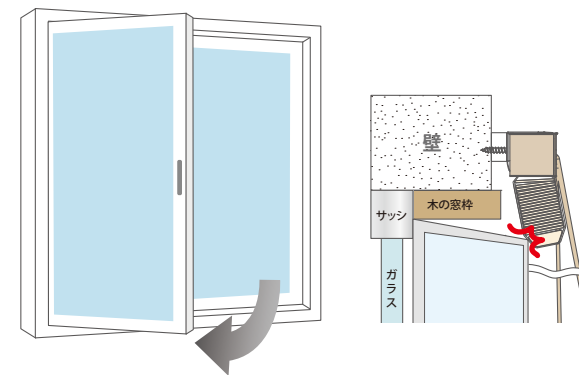
- ① 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと
- ② ブラインドの昇降操作に支障をきたす箇所や、窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと
- ③ 窓枠が壁面から26mm以上突出していないこと



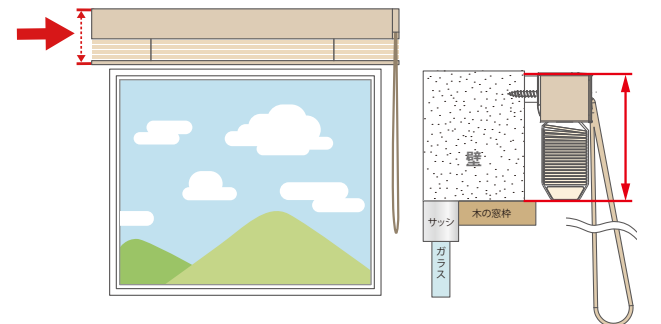
窓枠の厚さは26mm以下

条件 2 内開きの窓・網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること

- 内側に開く窓や網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、畳代計算は十分ご注意ください。



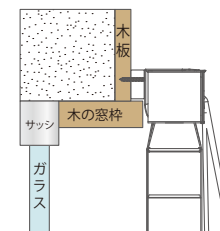
- 設置箇所における畳代の計算について
畳んだブラインドを窓枠上外に収めたいときには、P.19 壁面付けの採寸方法をご参照ください。



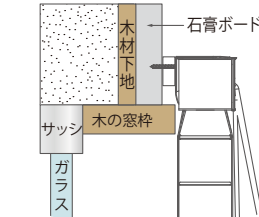
条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合、製品同梱のネジで取り付けが可能です。

木材、ベニヤの場合



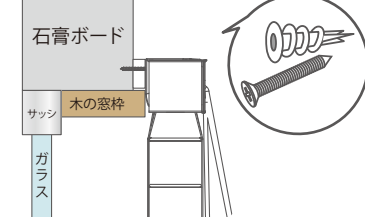
石膏ボードの下に木材の下地がある場合



ネジが下地まで届かない場合があるため、下地までの距離をご確認ください。

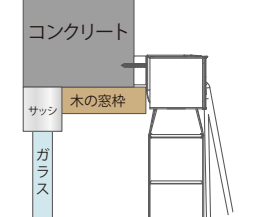
- 下地素材が下図の場合、弊社のネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合



石膏ボード専用アンカーなどをご利用いただく必要があります。※非推奨

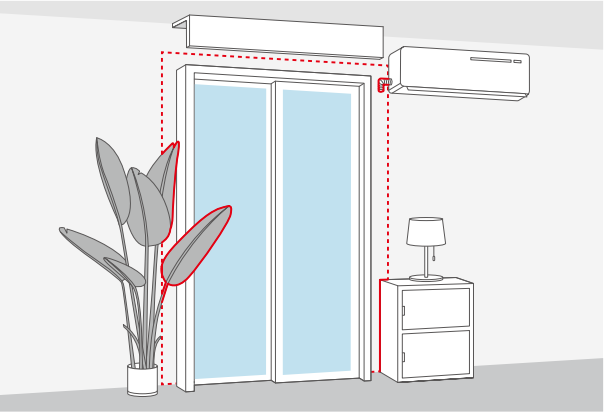
コンクリートのみの場合



コンクリート専用ネジの施工方法をご確認ください。

4-4 カーテンボックス付け

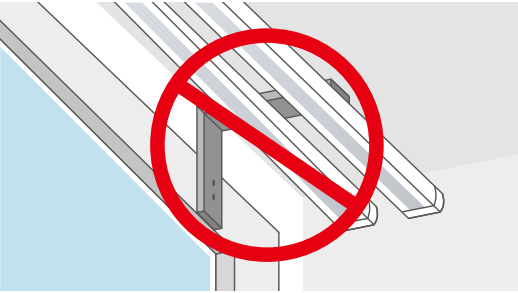
■ 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。



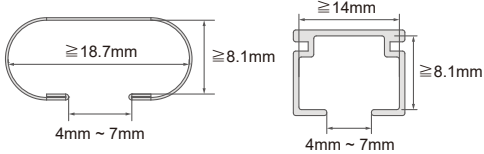
4-5 カーテンレール付け (桐ウッドブラインドのループコードタイプ、タッチのみ対応)

条件 1 設置するカーテンレールが下記条件を満たすこと

- 1 ご検討中の弊社製品重量を、P10 1-6製品重量の目安の計算式でご確認ください
- 2 カーテンレールの耐荷重量を仕様書、型番にてご確認ください。
製品重量の方が重ければ、製品がカーテンレールから脱落する恐れがあります。
- 3 カーテンレールの耐荷重量を支え切れるような取り付け方法、下地になっているか、ご確認ください。カーテンはとても軽いので、レールは簡易的に取り付けられている場合がございます。カーテンレールごと弊社製品が脱落する恐れがございます。
- 4 下図のような外付け式のカーテンレールではブラインド操作の負荷に耐えられず、事故の恐れがあるため、絶対に使用しないでください。

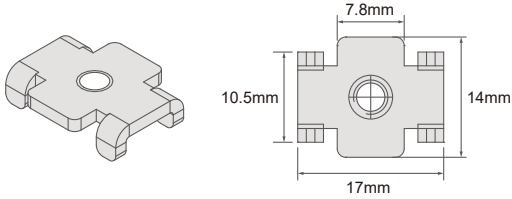


- 5 カーテンレールが下図の仕様と合致するか、ご確認ください。取り付け性能を発揮できず、カーテンレールから、製品が脱落する恐れがございます。



C型または角型の金属性
カーテンレールのみ設置可能です。
カーテンレール制限寸法は左図参照。

- 6 取り付けの際は製品付属のH型金具を必ずご使用ください。



各寸法が足りない場合、ブラケットの取り付けができません。

取り付けタイプ	参考図	断面図	必要寸法
窓枠天井付け			75mm
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)			33mm
鴨居付け			75mm
窓枠正面付け			23mm以上
壁面付け			30mm以上
カーテンボックス付け			135mm以上
カーテンレール付け (窓枠内)※1			75mm
カーテンレール付け (カーテンボックス内)※1			135mm以上

※ 1 カーテンレール付け(桐ウッドブラインドのループコードタイプ、タッチのみ対応)

【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

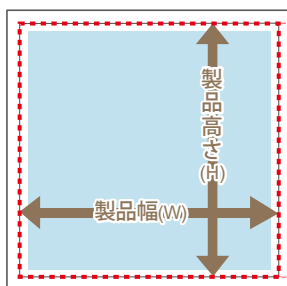
※ 新築等の図面上サイズでご注文いただきますと、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。

【採寸時のご注意】

窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

6-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

【窓枠天井付け】



製品幅

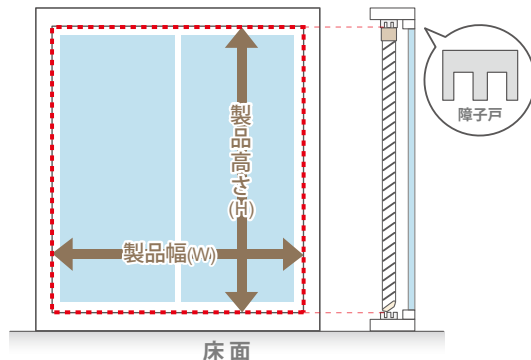
製品高さ

窓枠の内側寸法を両端から測定

【浅天井付け】



【鴨居付け】



製品幅

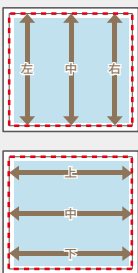
製品高さ

窓枠の内側寸法を両端から測定

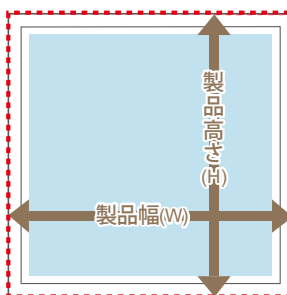
窓枠上面から床面までを測定

ご注意ください

- 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに 3 か所以上 (上中下、左右中など) を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
- 「枠内実寸」で発注する場合、採寸は、幅、高さとも窓枠の内側寸法を何も引かずに、正確に測ってください。
窓枠内に収まるよう製品に合わせ、工場にて1台あたり幅6mm(片側3mm)を引いて製作します。
取り付け後の窓枠とスラットの隙間は片側約3mmとなります。また、製品幅実寸でのご発注の場合も可能です。
その際、窓枠内幅実寸から最低6mm以上引いた寸法をご検討ください。
- 製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。



6-2 窓枠正面付け



製品幅

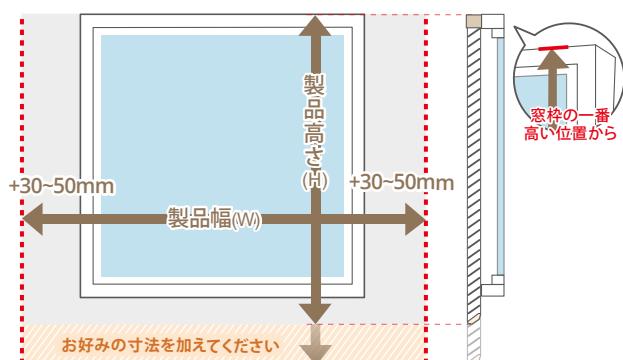
窓枠の外側寸法を両端から測定

・窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。
ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

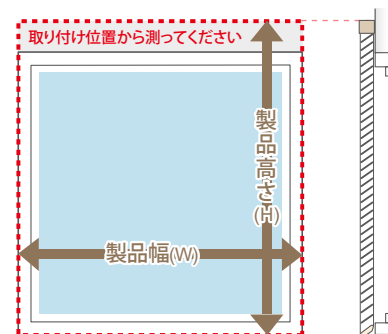
製品高さ

窓枠の外側寸法を両端から測定

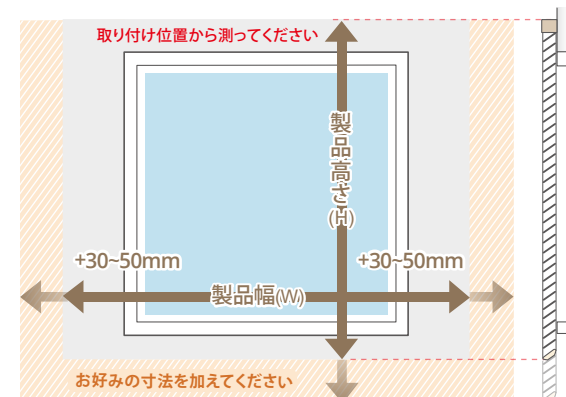
・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。



6-3 壁面付け



または



製品幅

窓枠の外側寸法を両端から測定

・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
・窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。
ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

製品高さ

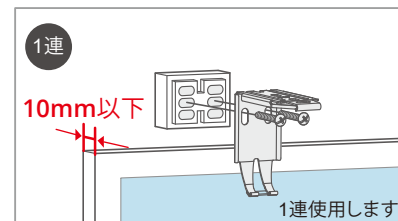
取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

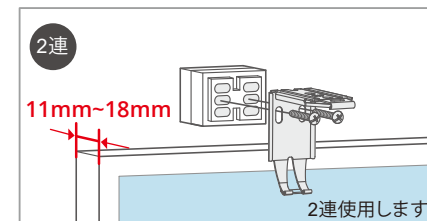
【窓枠のチリを逃がして取り付けする場合-ブラケットスペーサーの使用】

壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでブラインドの取り付けが可能です。
チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。
それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。

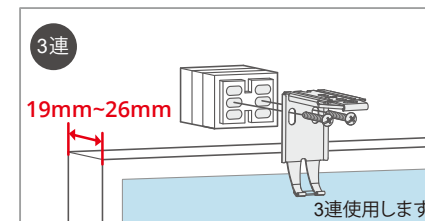
チリが10mm以下：1連



チリが11mm~18mm：2連

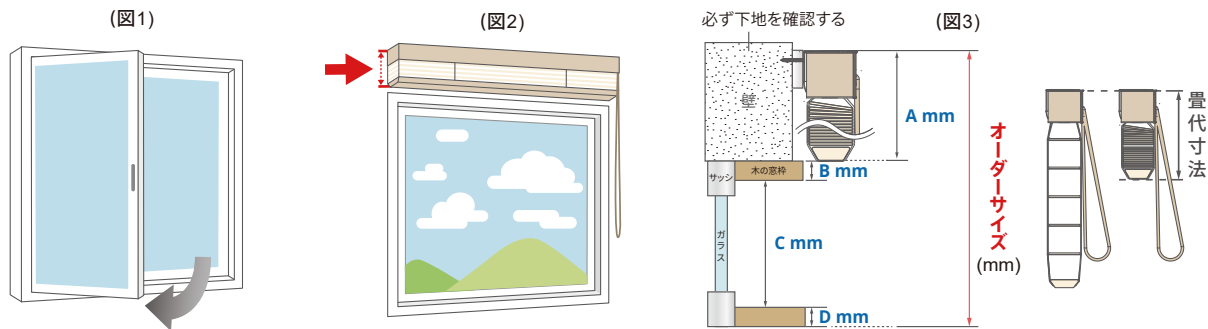


チリが19mm~26mm：3連



■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓・網戸 (図1) がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合 (図2) は、採寸と取り付けの際、量代とブラインドを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。 ※ブラインドを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です



- ① 下地を確認する → ② オーダーサイズを算出 → ③ 製品量代算出し、取り付け位置を決める

■ オーダーサイズ算出式 (ループコードタイプ・ループコードタッチ)

単位:mm

スラット幅	■ 桐ウッドブラインド	■ ウェスタンレッドシダーブラインド	■ グランドウッドブラインド
50mm	$(B+C+D+83.5227) / 0.9205$	-	$(B+C+D+92.3091) / 0.9181$
63mm	$(B+C+D+97.3439) / 0.9347$	$(B+C+D+97.3439) / 0.9347$	$(B+C+D+98.5238) / 0.9365$

■ A製品量代算出式

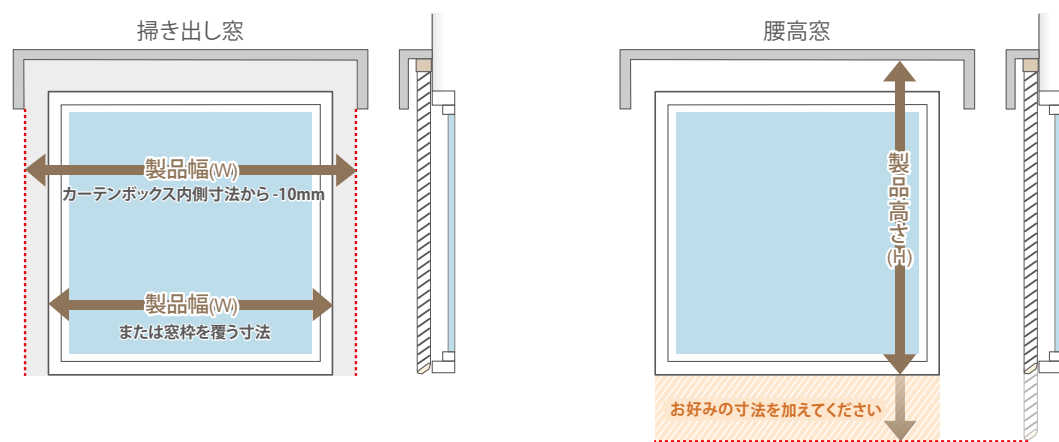
オーダーサイズを計算した後、製品の量代 (A) を計算する必要があります。木枠より量代 (A) 分上の位置にヘッドレール上面がくるように設置します。(図3参照)

単位:mm

スラット幅	■ 桐ウッドブラインド	■ ウェスタンレッドシダーブラインド	■ グランドウッドブラインド
50mm	$3.5 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 94) / 44 + 85 + 6$	-	$3.6 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 94) / 44 + 74 + 20 + 6$
63mm	$3.7 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 102) / 56.7 + 98 + 6$	$3.7 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 102) / 56.7 + 98 + 6$	$3.6 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 102) / 56.7 + 74 + 25 + 6$

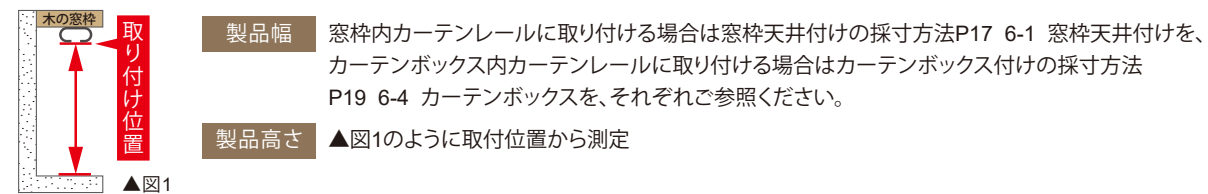
ご注意ください ㊦ 数値はあくまで目安です。その寸法を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

6-4 カーテンボックス付け



- 製品幅** カーテンボックス内側寸法から測定
・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

6-5 カーテンレール付け (桐ウッドブラインドのループコードタイプ、タッチのみ対応)



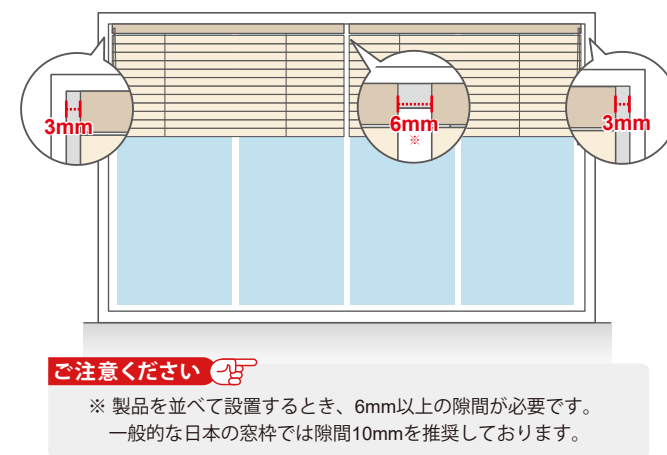
【取付タイプ、取付箇所の条件】

- 図面に示した奥行き寸法があること。
- カーテンレール付けの場合、壁とレールサイドの間に隙間(30ミリ以上)がある事をご確認ください。
※ 隙間が30ミリ以上ない場合、一度レールを取り外した上で、付属されるH型金具を装着してください。(P.21 7-2 ブラケットの取り付けを参照。) レールを戻す際、ネジ穴が取り外しにより、ゆるくなり再度穴の使用に適さない場合があります。その場合、新たに穴をあける必要があります。

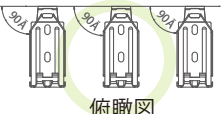
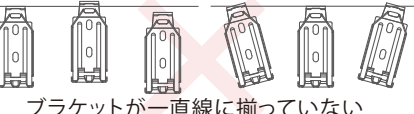
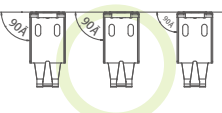
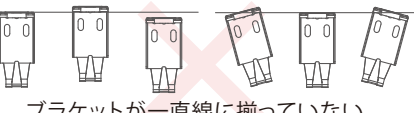
カーテンレール付け (窓枠天井付け)	カーテンレール付け (カーテンボックス付け)
30mm 30mm 1. 取り付けレールの前面から壁面まで 34mm 以上あること。 2. 奥行は 75mm 以上あること。	30mm 1. 取り付けレールの前面からカーテンボックス前側まで 101mm 以上あること。 2. 奥行は 135mm 以上あること。

6-6 大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合 (連窓仕様)

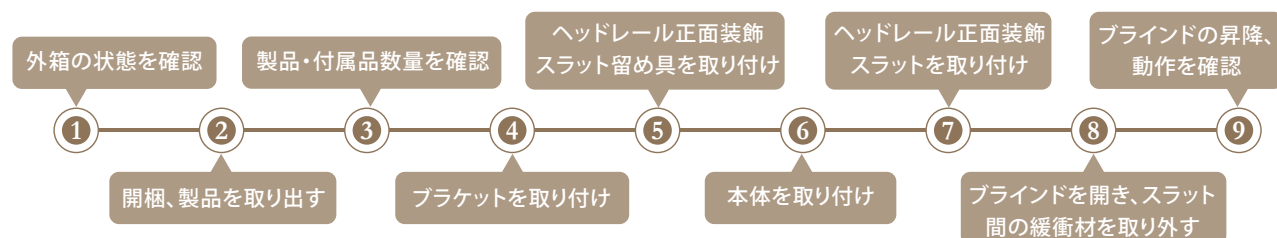
台数を分けて設置する場合は、窓サッシを境にすると見栄えも良くなります。採寸方法は1台の時と同様、設置箇所の窓枠内側の寸法を測ってください。そこから幅を台数分で割ったサイズがご注文サイズとなります。製品に合わせ、工場にて1台あたり幅6mm(片側3mm)を引いて製作します。取り付け時の隙間は片側(窓枠とスラット)約3mm、2台の間(スラットとスラット)は約6mmとなります。



ご注意ください  ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	 俯瞰図	 ブラケットが一直線に揃っていない
		 ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること		 ビスが斜め締めになってしまい、 ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

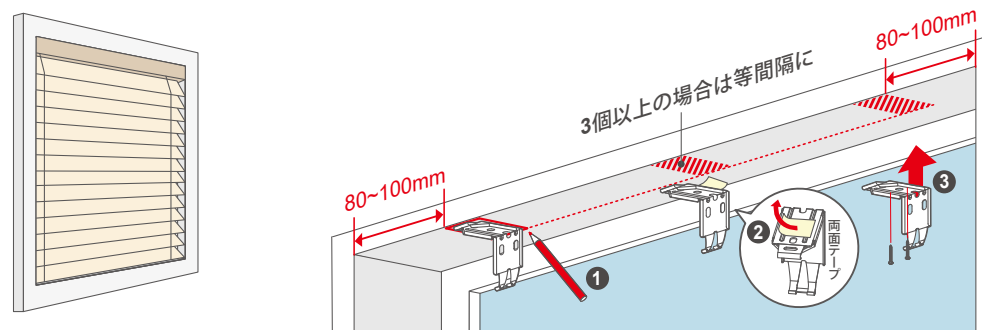
7-1 取り付けの手順



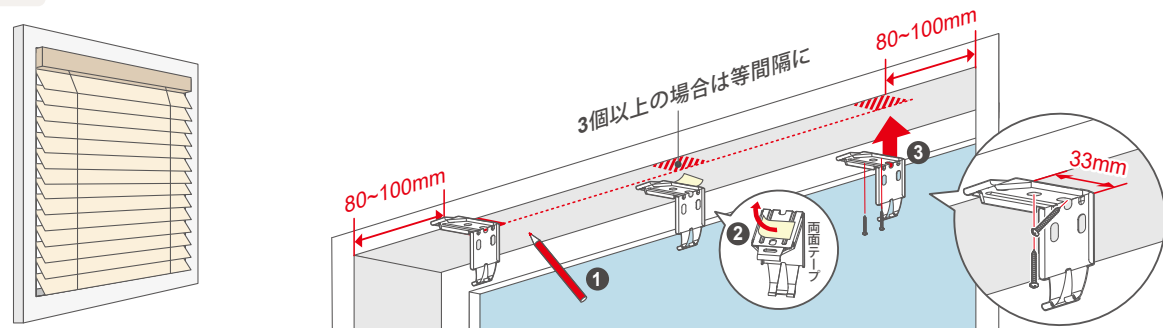
7-2 ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めブラケットをヘッドレールの両端部から約 80~100mm 内側に両面テープで仮止めしてください。
- 各ブラケットが左右平行（水平）になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。（下記参照）
ブラケットを 3 個以上の場合は、中間とのブラケットの間隔が均等になるようにしてください。

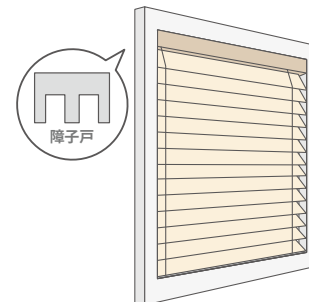
窓枠天井付け



浅天井付け

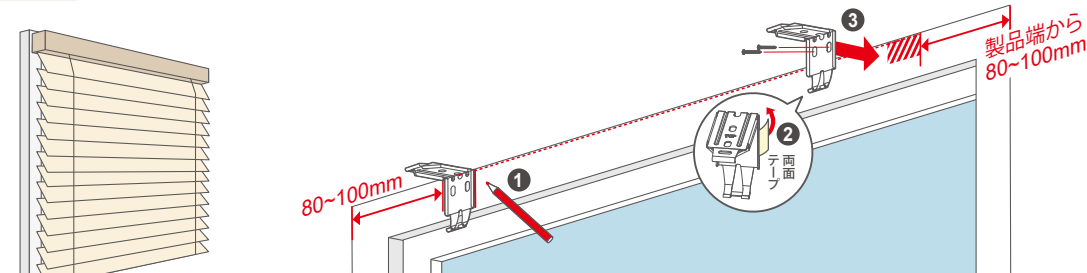


鴨居付け

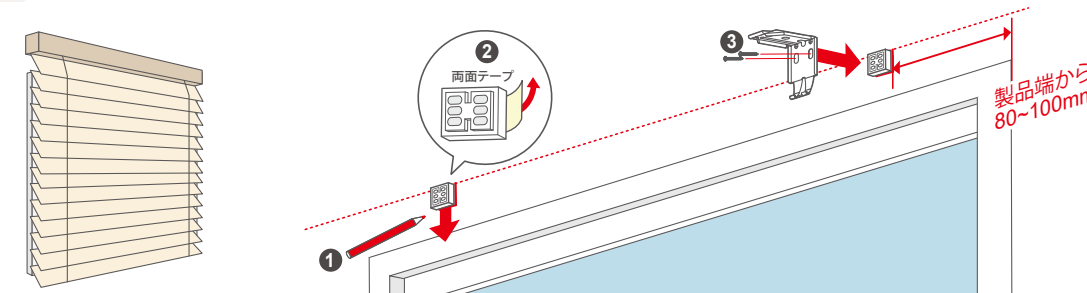


- ブラケットが 2 点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所差し込み固定してください。
※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

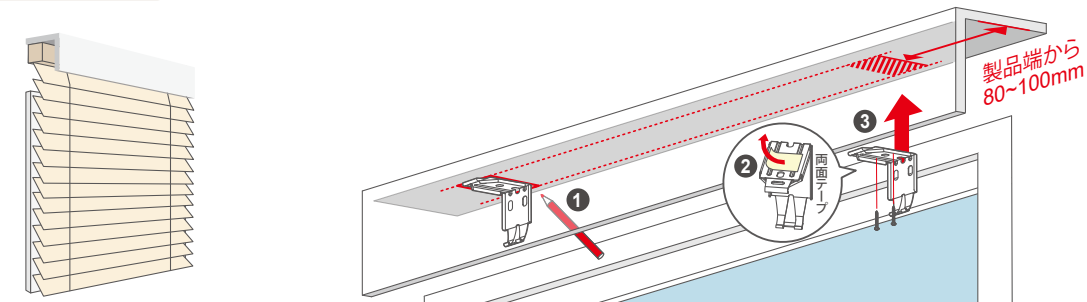


壁面付け

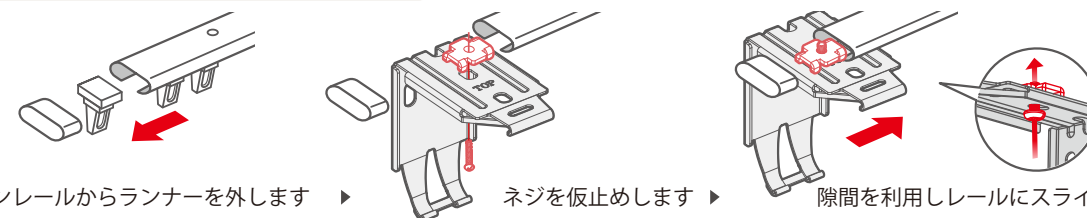


- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所ブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。
ブラケットを左右平行（水平）に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。

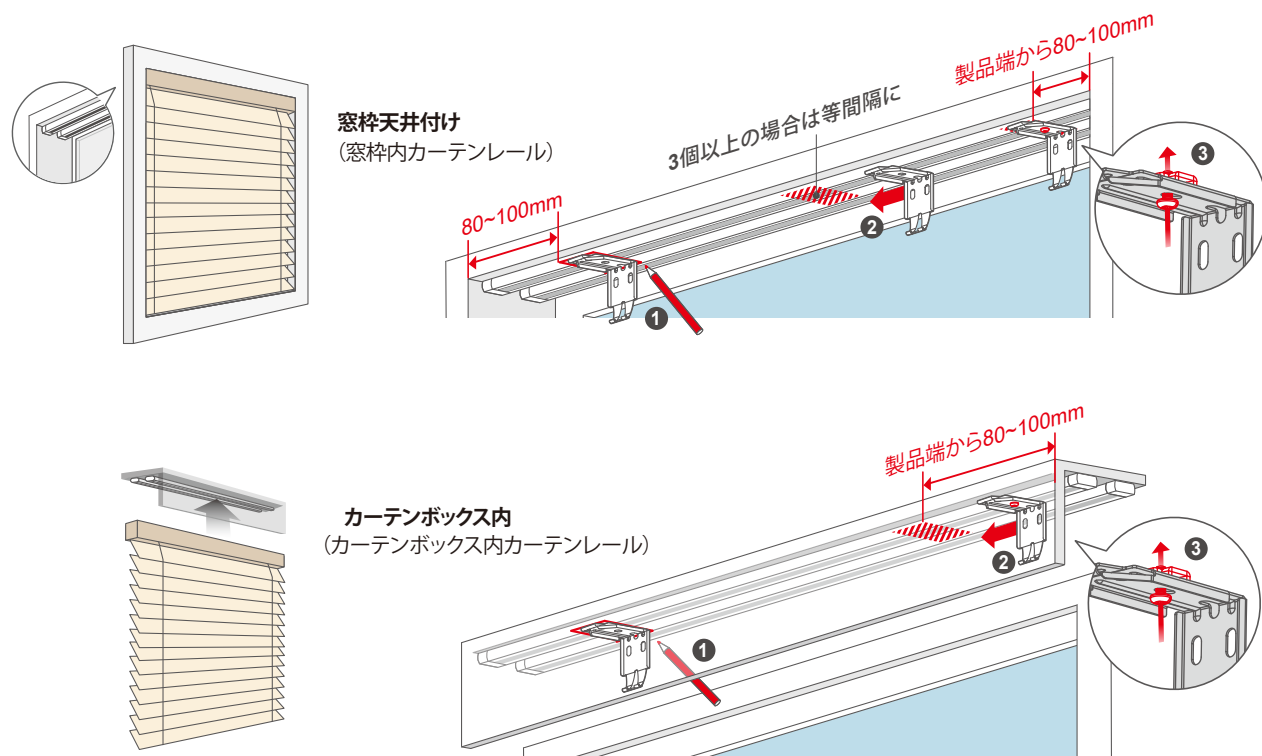
カーテンボックス付け



カーテンレール付け (桐ウッドブラインドのみ対応)



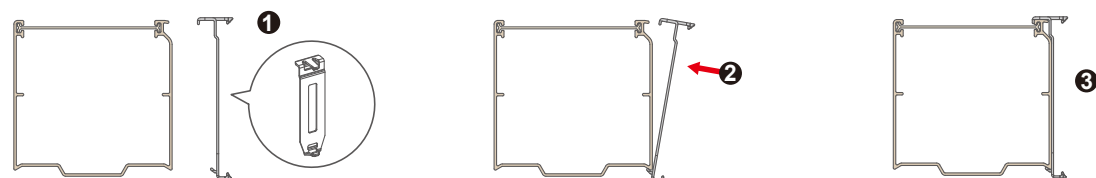
- カーテンレールからランナーを外します ▶ ネジを仮止めします ▶ 隙間を利用しレールにスライドさせます
- ブラケットとH型金具を合わせ、ネジで仮止めします。（この時点では仮止めにしてください。）
H型金具とブラケットと一緒にカーテンレールの端からスライドさせます。



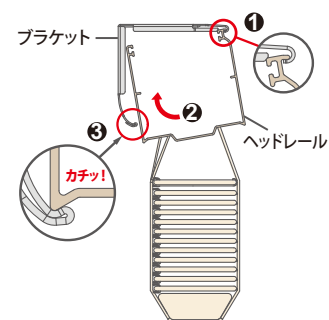
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約 80~100mm 内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。

7-3 ヘッドレール正面装飾スラット留め具の取り付け

ヘッドレール正面に装飾スラット用の留め具を取り付けます。留め具はブラケット位置を避け、均等に配置します。留め具は下図の手順で固定してください。



7-4 ブラインド本体の取り付け



ヘッドレールをブラケット手前のツメに引っ掛けて、ヘッドレールを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。

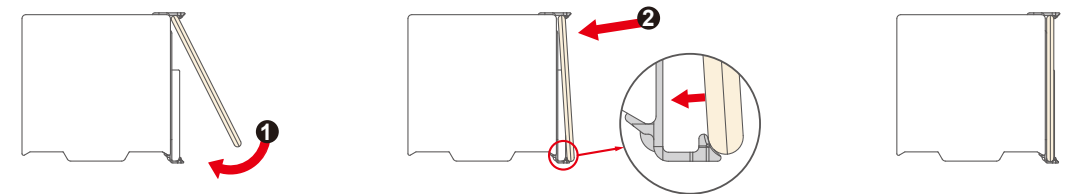
⚠
ご注意ください

製品本体を取り付けるときは、本体がブラケットにしっかりと固定されていることを必ず確認してください。取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。製品の幅が短い場合、取り付け時にヘッドレールがしなり難い状況もございます。その場合は強めに押し込んでください。ハンマー等で叩くとブラケットが変形し、取り付けが困難になる場合がございます。

7-5 ヘッドレール正面装飾スラットの取り付け

ヘッドレールをブラケットに設置完了したら、ヘッドレール正面に装飾スラットを取り付けます。

まず、7-3 ヘッドレール正面装飾スラット留め具の取り付けで設置した留め具の上部溝に装飾スラットを引っかけて、そのまま嵌め込みます。

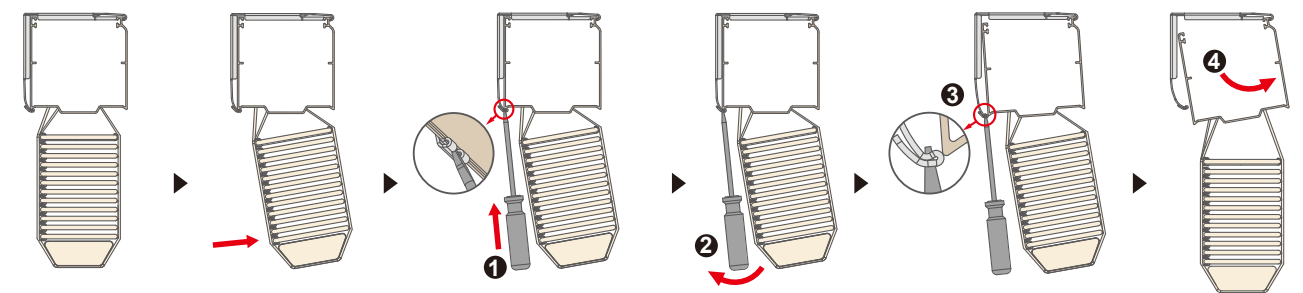


⚠
ご注意ください

①上部ツメに差し込み、②下部ツメにはめ込み、の順で取り付けてください。順を誤ると装飾スラットが破損する恐れがあります。

ブラインド本体の取り外し方

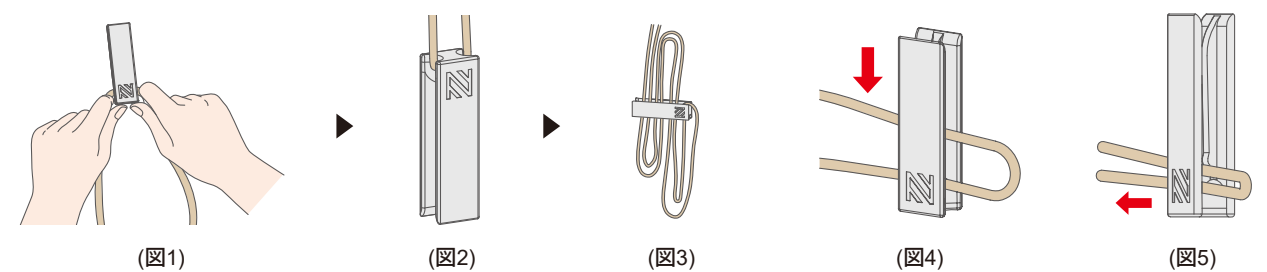
マイナスドライバーをブラケットの後方隙間へ差し込み、図 ①～③ の手順でヘッドレールの後方に掛かっているツメを外します。ヘッドレールを ④ の方向へ外し、ブラインドをブラケットから取り出します。



⚠
ご注意ください

ブラケットからブラインド本体を取り外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

7-6 クリップの取り付け



■ クリップの取り付け

1. ループコードをクリップ開口部から挟み込みます。
2. 両手でコードを支えながら両親指でクリップを押してください。(図1)
3. クリップ最奥までコードを押し込みます。(図2)

■ クリップの使い方

余ったコードをクリップに挟み込みながらお子さまの手の届かない高さでまとめましょう。(図3)

■ クリップの取り外し

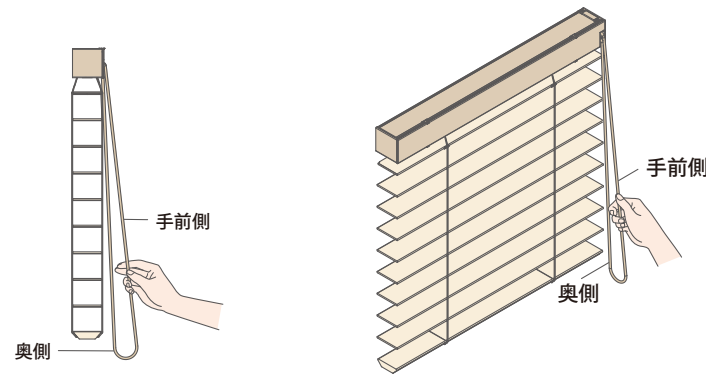
クリップに、重ねてコードを押し込みます。(図4)

最奥までコードを押し込んだ後に、輪の逆側のコードを引き、クリップを取り外します。(図5)

⚠
ご注意ください

お子様をコード等で遊ばせないでください。コード等が首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ね、クリップに固定してください。

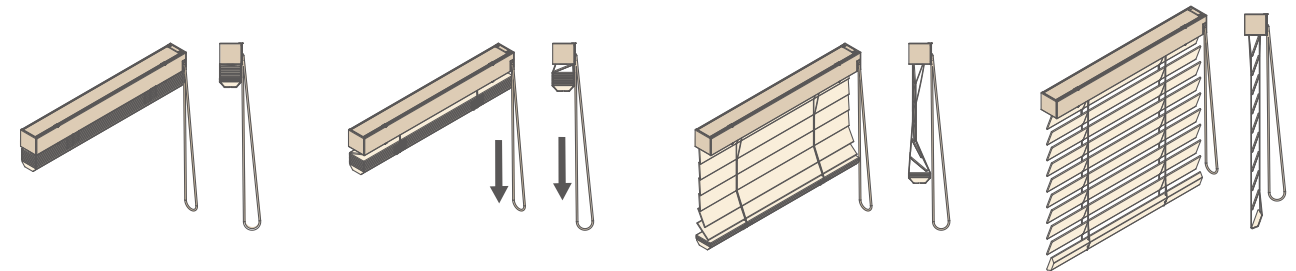
8-1 ループコードタイプ



- ブラインドの上昇
コードの手前側を引きます。
- ブラインドの降下
コードの奥側を引きます。
- スラット(はね)角度の調整
コード手前側を引くとスラットが手前側に、奥側を引くとスラットが奥側に回転します。

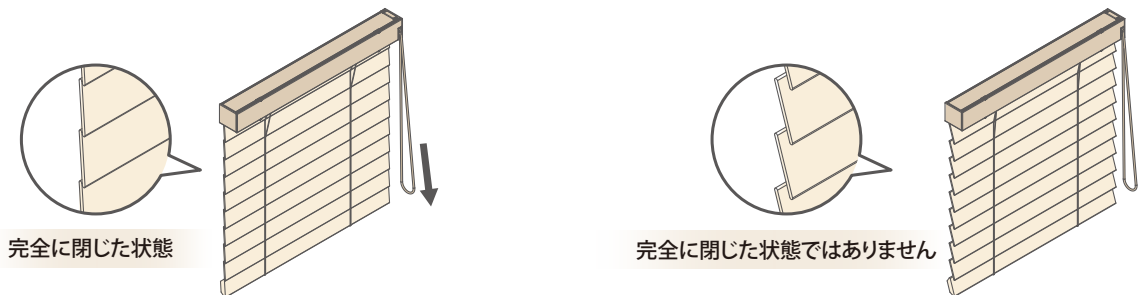
8-2 ループコードタッチ

ブラインドを降ろす場合



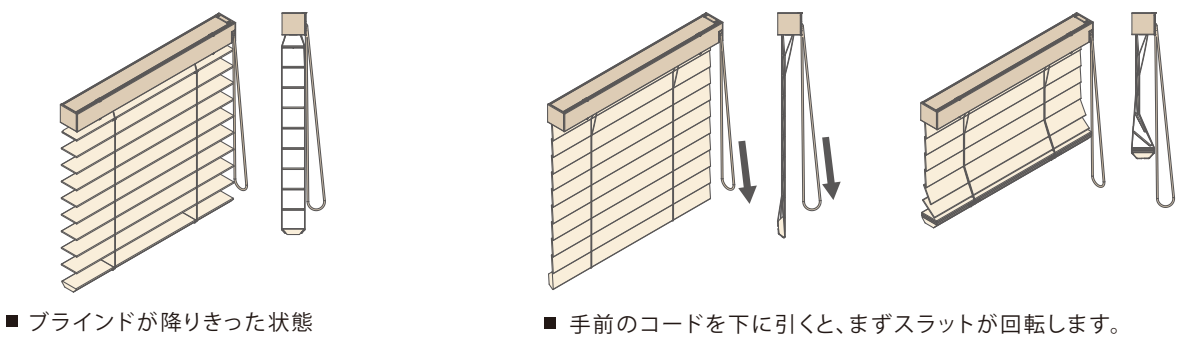
- 取り付け時
- 奥側のコードを約50～53cm引いた後、スラットが少し回転し自動降下します。
注意 コードを引ききった後で無理にコードを引かないでください。故障の原因になります。
- 降下中に動作を止めるには、手前のコードを引きます。コードを引くと、スラットが閉まります。その後、降下が止まります。
- ブラインドが降りきった状態

スマートプライバシーについて



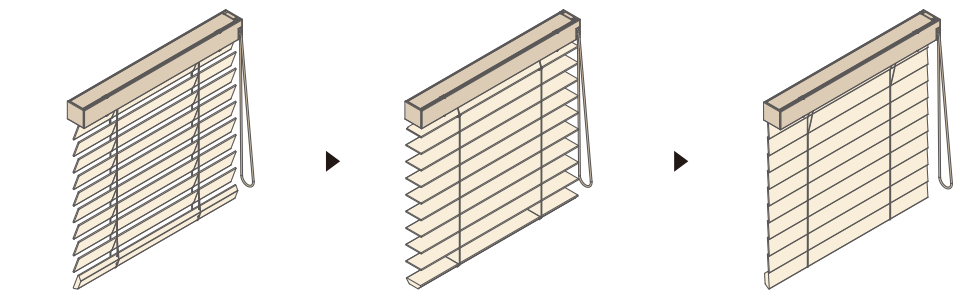
- スラットが完全に閉じた(※)後、さらに手前のコードを引くとブラインドが上昇します。
※ 天然素材の特性上、すべてのスラットにおいて100%の遮光性を保証することはできません。

ブラインドを上げる場合



- ブラインドが降りきった状態
- 手前のコードを下に引くと、まずスラットが回転します。

スラットの角度調整



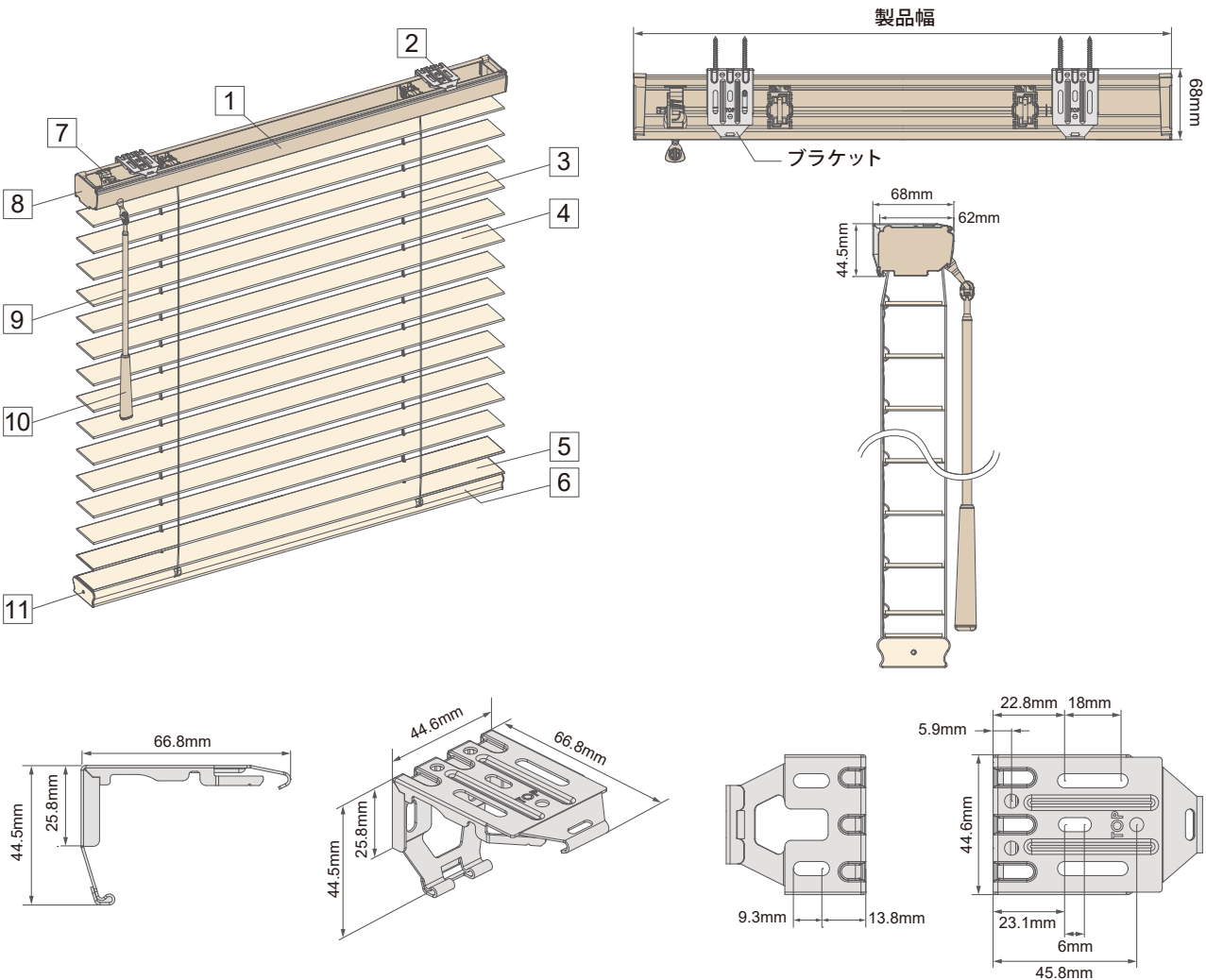
- ループコードを交互に引くことでスラットの角度が調整できます。

調整 ループコードタイプ(1:3の操作メカを除く)、ループコードタッチ、ともに障害物に触れると降下が止まる安全装置付き。安全装置起動後は、一度ブラインドを上げると安全装置が解除されます。

1-1 ■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド — コードレスタイプ



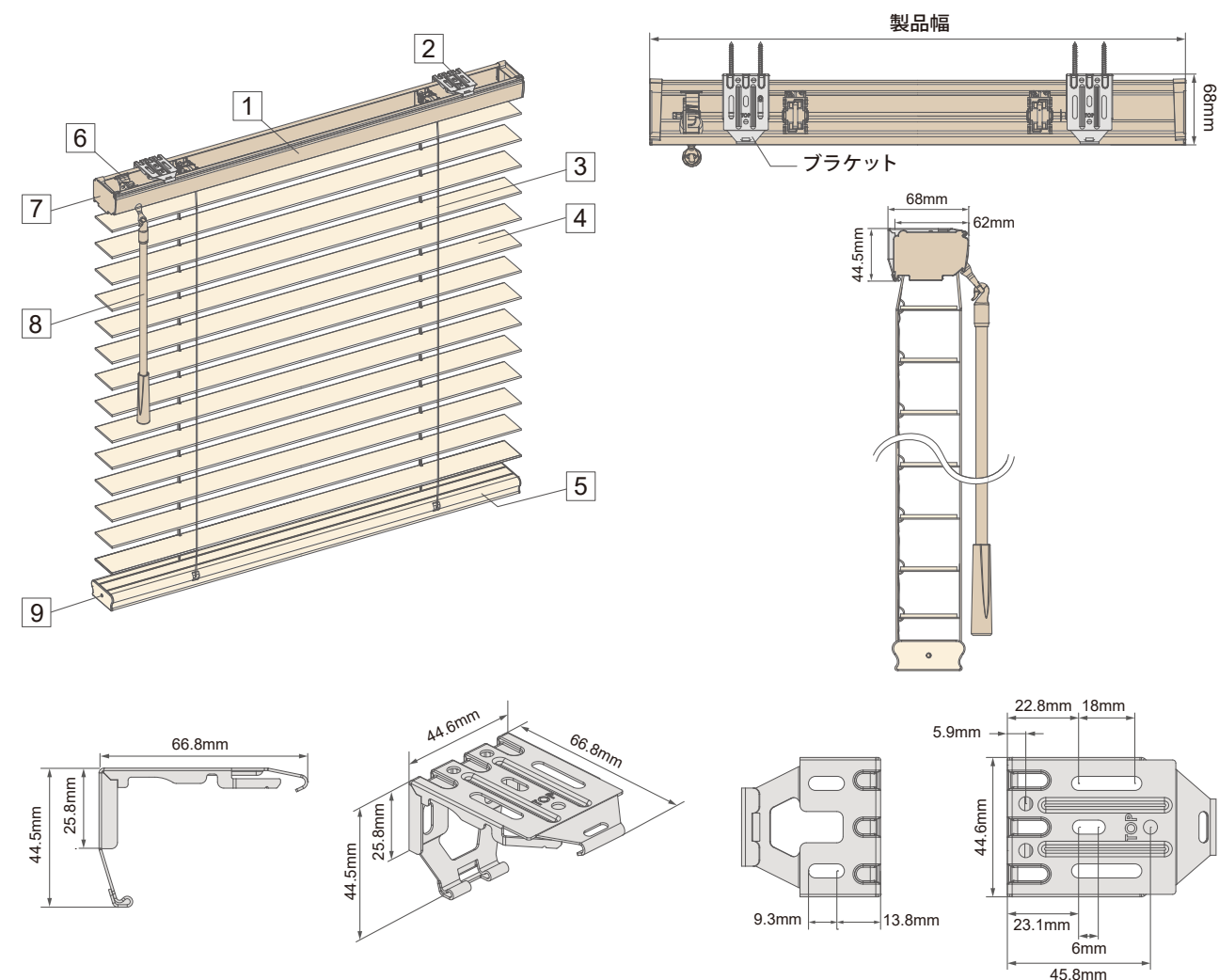
コードレスタイプ
※ 配色表は別紙参照



部品名	材質		備考	
	桐ウッドブラインド	ウェスタンレッドシダーブラインド	桐ウッドブラインド	ウェスタンレッドシダーブラインド
(1) ヘッドレール	樹脂成形品		※	
(2) ブラケット	標準仕様：メタル		オプション：ステンレス	
(3) ラダーコード	ポリエステル繊維		※	
(4) スラット	桐	ウェスタンレッドシダー	50mm / 63mm	63mm
(5) スラット	桐	ウェスタンレッドシダー	ボトムレールの上に一枚	
(6) ボトムレール	樹脂成形品		※	
(7) 回転操作メカ	樹脂成形品およびメタル		※	
(8) ヘッドキャップ	樹脂成形品		※	
(9) バトン	メタル		※	
(10) バトンカバー	樹脂成形品		※	
(11) ボトムキャップ	樹脂成形品		※	

※スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。別紙横型ラインド配色表をご参照ください。

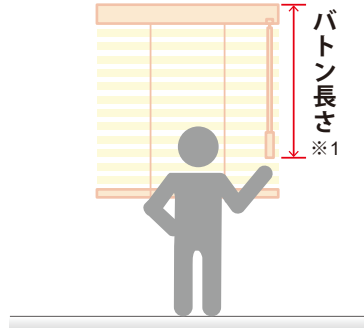
1-2 ■ グランドウッドブラインド — コードレスタイプ



部品名	材質	備考
(1) ヘッドレール	樹脂成形品	※
(2) ブラケット	標準仕様：メタル オプション：ステンレス	
(3) ラダーコード	ポリエステル繊維	※
(4) スラット	樹脂成形品	50mm / 63mm
(5) ボトムレール	樹脂成形品	※
(6) 回転操作メカ	樹脂成形品およびメタル	※
(7) ヘッドキャップ	樹脂成形品	※
(8) バトン	樹脂成形品	※
(9) ボトムキャップ	樹脂成形品	※

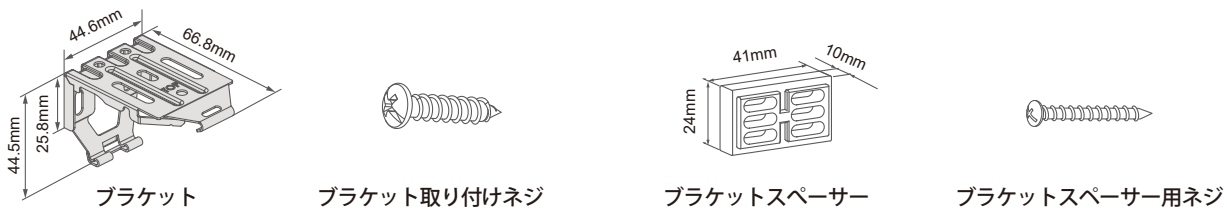
※ スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。別紙横型ラインド配色表をご参照ください。

1-3 操作メカ

製品名	■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド	■ グランドウッドブラインド										
製作可能寸法	製品幅：400mm～2000mm 製品高さ：420mm～2200mm 製作最大面積：4㎡	製品幅：400mm～2000mm 製品高さ：420mm～2200mm 製作最大面積：4㎡										
ボタン位置	(標準仕様)  左ボタン 右ボタン											
ボタン長さ	製品高さに応じて、下記表の通り製作します。 【製品高さに対する調光バトンの標準長さ】 <table><tr><td>製品高さ(H) (ご発注の高さ)</td><td>～914mm</td><td>915mm～1219mm</td><td>1220mm～1828mm</td><td>1829mm～2200mm</td></tr><tr><td>調光バトンの長さ</td><td>451mm</td><td>610mm</td><td>756mm</td><td>972mm</td></tr></table> 【調光バトンの長さを指定する場合】 ・設置箇所が高所の場合など、ご要望に合わせて、バトンの長さをご指定ください(※1)。 ・バトンの長さは 451mm、610mm、756mm、972mmの4種類から選択可能です。 ・バトンの長さ公差：±25mm  ※1 ヘッドレール上辺からボタン下辺まで。		製品高さ(H) (ご発注の高さ)	～914mm	915mm～1219mm	1220mm～1828mm	1829mm～2200mm	調光バトンの長さ	451mm	610mm	756mm	972mm
製品高さ(H) (ご発注の高さ)	～914mm	915mm～1219mm	1220mm～1828mm	1829mm～2200mm								
調光バトンの長さ	451mm	610mm	756mm	972mm								

1-4 付属部品の数量

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド ■ グランドウッドブラインド



製品幅 (mm)	ブラケット	壁面付け以外の場合		壁面付けの場合	
		ブラケット取り付けネジ	ブラケットスペーサー	ブラケットスペーサー用ネジ	
~939mm	2	4	2	4	
940mm~1193mm	3	6	3	6	
1194mm~1905mm	4	8	4	8	
1906mm~	5	10	5	10	

- ※ 上記のブラケットスペーサー数量は、1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
- ※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
- ※ 通常は19mmのネジが付属します。ブラケットスペーサー1連使用時は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジ が付属します。連結時のスペーサー奥行きは2連18mm、3連26mmとなります。
- ※ 仮止め用両面テープ数=ブラケット数*1+ブラケットスペーサー数*2。



1-5 ラダーコード、昇降コードの数

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド

ラダーコードの数						
仕上がり幅 (mm)		~812mm	813~1015mm	1016~1371mm	1372~1981mm	1982mm~
スラット幅 50mm	本数	2	3	3	4	5
仕上がり幅 (mm)		~927mm	928~1015mm	1016~1371mm	1372~1905mm	1906mm~
スラット幅 63mm	本数	2	3	3	4	5
昇降コードの数						
仕上がり幅 (mm)		~812mm	813~1015mm	1016~1371mm	1372~1981mm	1982mm~
スラット幅 50mm	本数	4	4	6	8	8
仕上がり幅 (mm)		~927mm	928~1015mm	1016~1371mm	1372~1905mm	1906mm~
スラット幅 63mm	本数	4	4	6	8	8

■ グランドウッドブラインド

ラダーコードの数						
仕上がり幅 (mm)		~609mm	610~939mm	940~1270mm	1271~1600mm	1601~1930mm
スラット幅50mm	本数	2	3	4	5	6
仕上がり幅 (mm)		~609mm	610~939mm	940~1270mm	1271~1600mm	1601~1930mm
スラット幅63mm	本数	2	3	4	5	6
昇降コードの数						
仕上がり幅 (mm)		~609mm	610~939mm	940~1270mm	1271~1600mm	1601~1930mm
スラット幅50mm	本数	4	4	4	8	8
仕上がり幅 (mm)		~609mm	610~939mm	940~1270mm	1271~1600mm	1601~1930mm
スラット幅63mm	本数	4	4	4	8	8

1-6 製品重量の目安

■ 桐ウッドブラインド

部 品 名		計 算 式	
製品全体 (kg)	ペイント	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.049)×1.7853+仕上がり幅(m)×0.7694
		スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.05)×1.8509+仕上がり幅(m)×0.933
	ステイン	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.049)×1.0592+仕上がり幅(m)×0.7694
		スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.05)×1.0952+仕上がり幅(m)×0.933

- ※ マットフィニッシュ シリーズはステインに含む。
- ※ 数値はあくまでも目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ ウェスタンレッドシダーブラインド

単位:kg

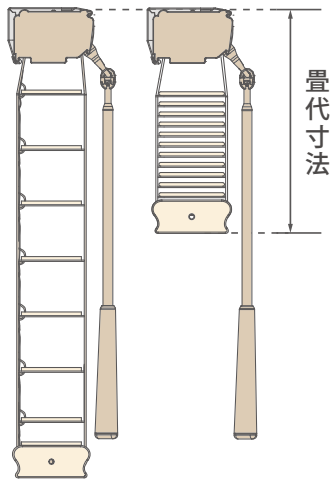
部 品 名		計 算 式	
製品全体(kg)	スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.05)×1.3021+仕上がり幅(m)×0.933	

■ グランドウッドブラインド

単位:kg

部 品 名		計 算 式	
製品全体(kg)	スラット幅50mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.0868)×1.837+仕上がり幅(m)×0.7694	
	スラット幅63mm	仕上がり幅(m)×0.8939+仕上がり幅(m)×(仕上がり高さ(m)-0.1)×1.692+仕上がり幅(m)×0.933	

1-7 製品畳代算出式



■ 桐ウッドブラインド

単位:mm

スラット幅	計 算 式
スラット幅50mm	3.6×(仕上がり高さ (mm) - 90) / 44 + 81
スラット幅63mm	3.7×(仕上がり高さ (mm) - 94) / 56.7 + 81

■ ウェスタンレッドシダーブラインド

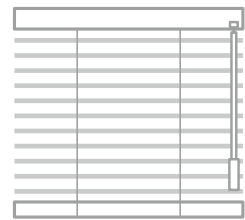
スラット幅	計 算 式
スラット幅63mm	3.7×(仕上がり高さ (mm) - 94) / 56.7 + 81

■ グランドウッドブラインド

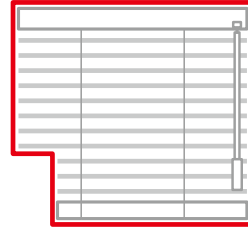
スラット幅	計 算 式
スラット幅50mm	3.5×(仕上がり高さ (mm) - 90) / 44 + 81
スラット幅63mm	3.6×(仕上がり高さ (mm) - 94) / 56.7 + 81

- ※ 数値はあくまでも目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

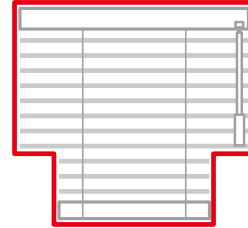
2-1 カットアウト



無し



片側



両側

カットアウト採寸方法 F(F1,F2)=窓の最上部からカットアウトの最上部まで。 E(E1,E2)=製品外端からカット部内端まで。

■ 桐ウッドブラインド ■ ウェスタンレッドシダーブラインド

スラット	Eの範囲		Fの範囲	カットアウト寸法
	製品幅	E		
50mm	～530mm	$3 \leq E \leq 52$	51mm ～ 製品高さ実寸 - 45mm	片側 製品幅実寸 FとEを ご記入ください(mm) 両側 製品幅実寸 F1・E1・F2・E2を ご記入ください(mm)
	531mm～	$3 \leq E \leq 127$		
63mm	～940mm	$3 \leq E \leq 52$	51mm ～ 製品高さ実寸 - 58mm	片側 FとEを ご記入ください(mm) 両側 F1・E1・F2・E2を ご記入ください(mm)
	941mm～	$3 \leq E \leq 127$		

※ スラット残幅が10mm以下の場合は、操作性、耐久性への影響を考慮し、該当スラットを全カットします。

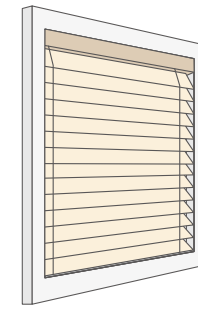
■ グランドウッドブラインド

スラット	Eの範囲		Fの範囲	カットアウト寸法
	製品幅	E		
50mm	～710mm	$3 \leq E \leq 52$	51mm ～ 製品高さ実寸 - 45mm	片側 製品幅実寸 FとEを ご記入ください(mm) 両側 製品幅実寸 F1・E1・F2・E2を ご記入ください(mm)
	711mm～	$3 \leq E \leq 114$		
63mm	～640mm	$3 \leq E \leq 38$	51mm ～ 製品高さ実寸 - 58mm	片側 FとEを ご記入ください(mm) 両側 F1・E1・F2・E2を ご記入ください(mm)
	641～990mm	$3 \leq E \leq 52$		
	991mm～	$3 \leq E \leq 114$		

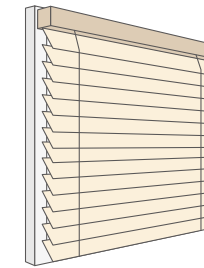
※ F(F1,F2)について、カット必要箇所がスラット1枚未満の場合、1枚分の縦幅をカットさせていただきます。
該当箇所下部に光漏れの恐れがありますので、あらかじめご了承ください。

※ ボトムレールは縦幅の途中で裁断することができません。

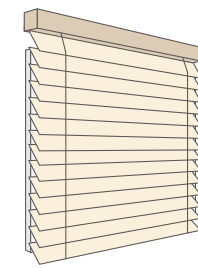
窓枠天井付け(鴨居付け) / 浅天井付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



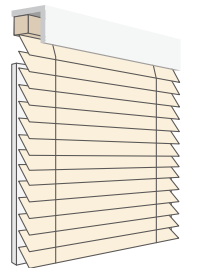
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)



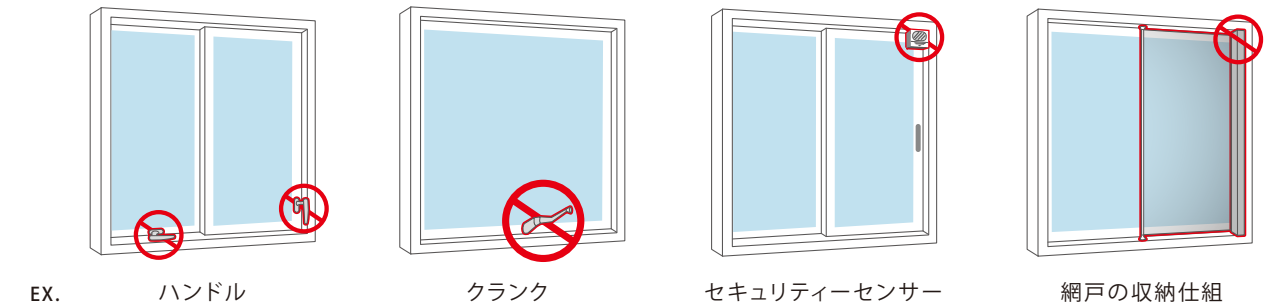
カーテンボックス付け
(カーテンボックス内に取り付ける場合)



04 取り付け条件

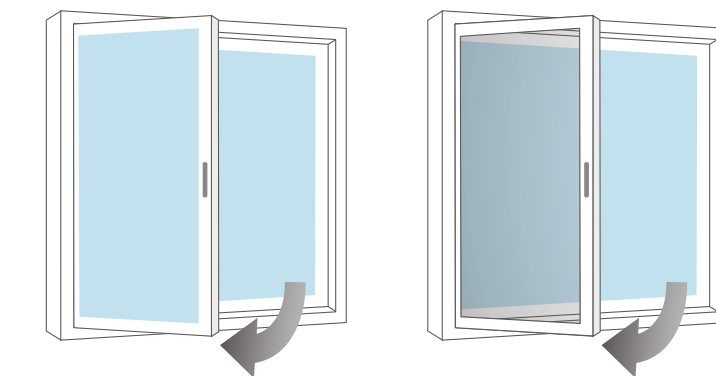
4-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

条件 1 障害物など干渉するものがないこと



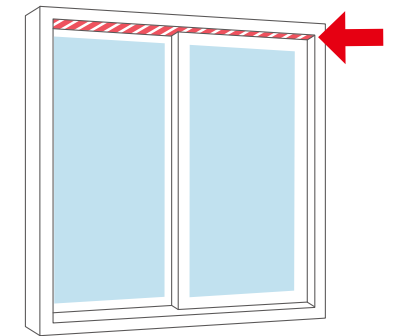
EX. ハンドル クランク セキュリティーセンサー 網戸の収納仕組

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



EX. 内開きの窓 内開きの網戸

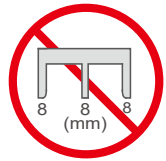
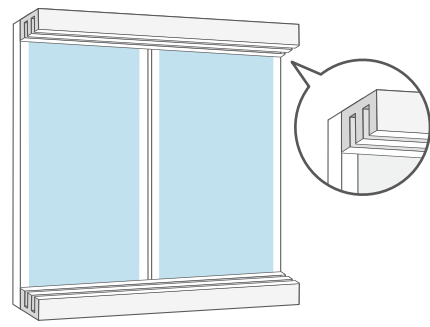
条件 3 下地が木材であること



ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

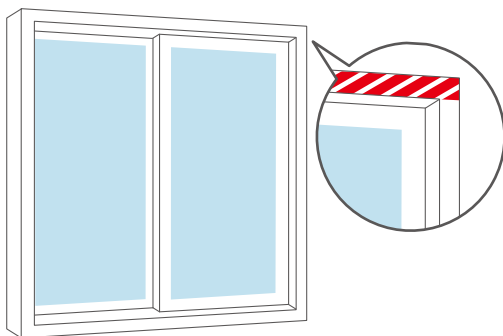
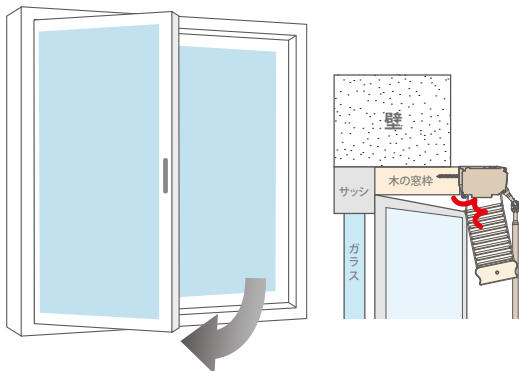
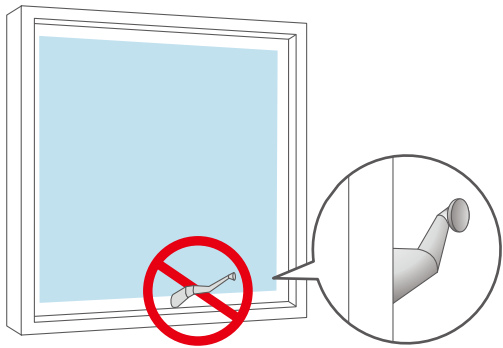
条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品操作の際干渉する物等には十分ご注意ください。

【鴨居付け】



薄型鴨居の場合、左図の木の幅が
8mm以下の箇所への取り付けは
おすすめできません。

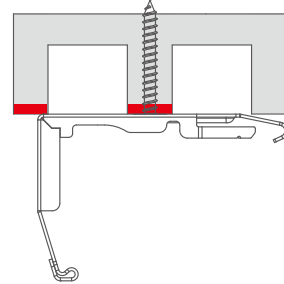
4-2 窓枠正面付け



和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

- 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、ブラケットが **2点の平面** に支えられることをご確認ください。
なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わない場合がございます。
- 下地の厚さが薄いと、ネジが鴨居を貫通する可能性があります。

取り付けの側面図
(おすすめの取り付け方法)



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、ブラインドの昇降を妨げます。
取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにブラインドを収めると、扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)

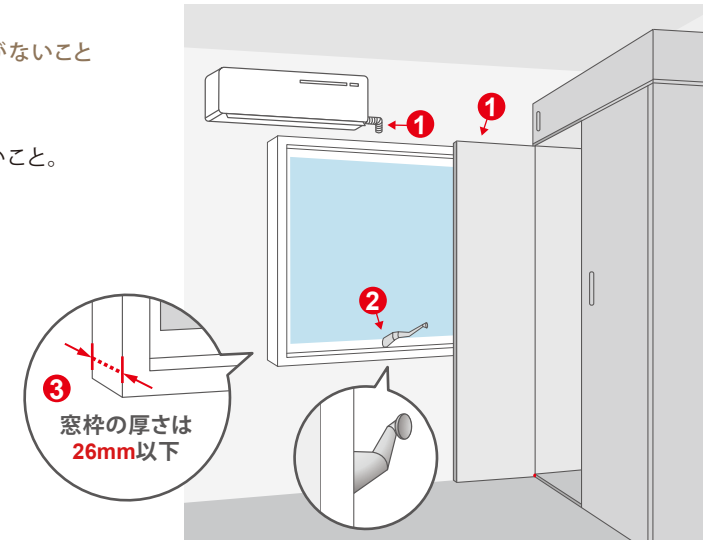
条件 3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、取り付け箇所の材質が木材でできていること。
(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

4-3 壁面付け

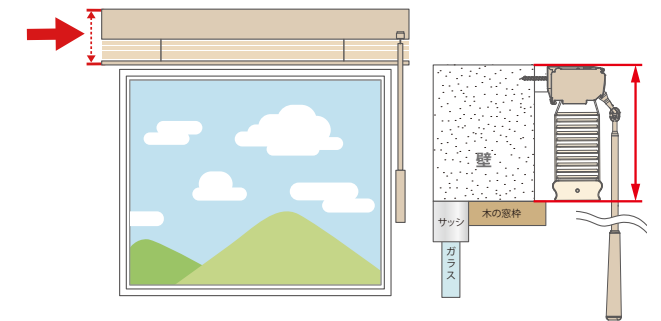
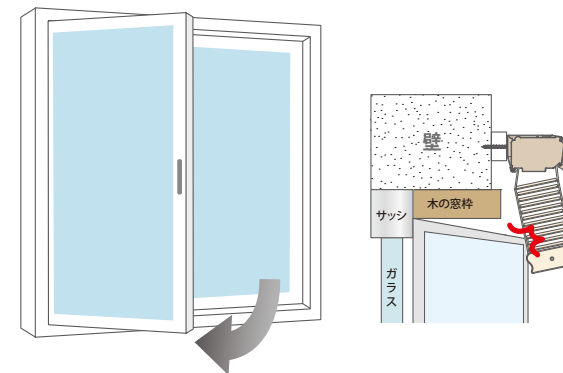
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

- ① 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと。
- ② ブラインドの昇降操作に支障をきたす箇所や、窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。
- ③ 窓枠が壁面から **26mm** 以上突出していないこと。



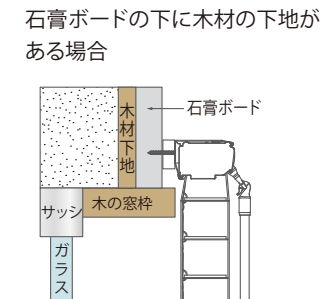
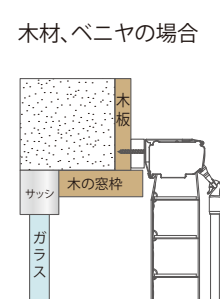
条件 2 内開きの窓・網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること

- 内側に開く窓や網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がないよう、畳代計算は十分ご注意ください。
- 設置箇所における畳代の計算について
畳んだブラインドを窓枠上外に収めたいときには、
P.41 壁面付けの採寸方法をご参照ください。

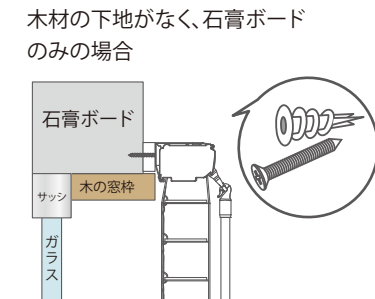


条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

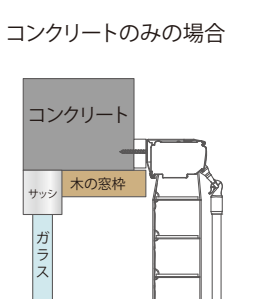
- 下地素材が下図の場合、製品同梱のネジで取り付けが可能です。
- 下地素材が下図の場合、弊社のネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。



ネジが下地まで届かない場合があるため、
下地までの距離をご確認ください。



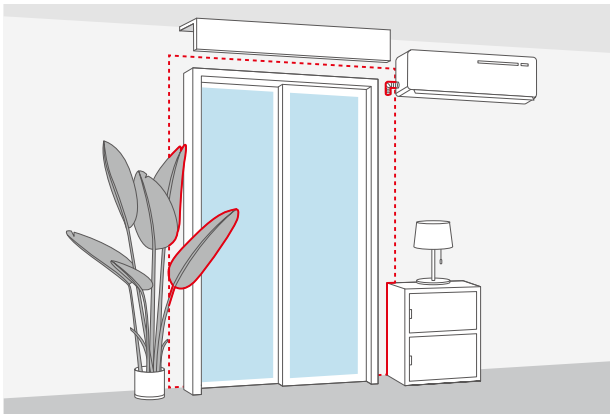
石膏ボード専用アンカーなどをご利用
いただく必要があります。※非推奨



コンクリート専用ネジの施工方法をご確認ください。

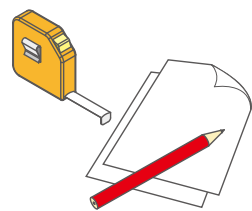
4-4 カーテンボックス付け

■ 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。



各寸法が足りない場合、ブラケットの取り付けができません。

取り付けタイプ	参考図	断面図	必要寸法
窓枠天井付け			68mm
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)			33mm
鴨居付け			68mm
窓枠正面付け			24mm以上
壁面付け			26mm以上
カーテンボックス付け			135mm以上



【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

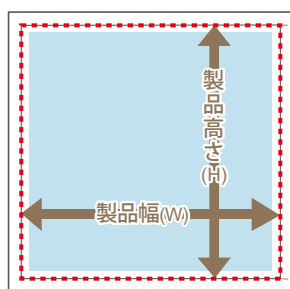
※ 新築等の図面上サイズでご注文いただきますと、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。

【採寸時のご注意】

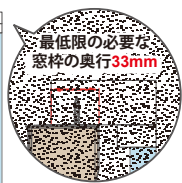
窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

6-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

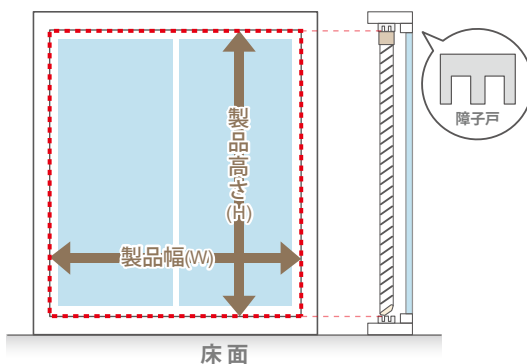
【窓枠天井付け】



【浅天井付け】



【鴨居付け】



製品幅

窓枠の内側寸法を両端から測定

製品高さ

製品幅

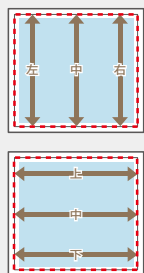
窓枠の内側寸法を両端から測定

製品高さ

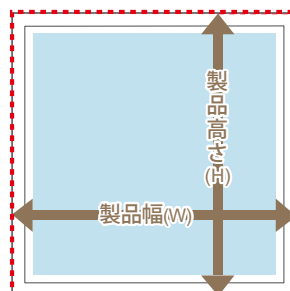
窓枠上面から床面までを測定

ご注意ください

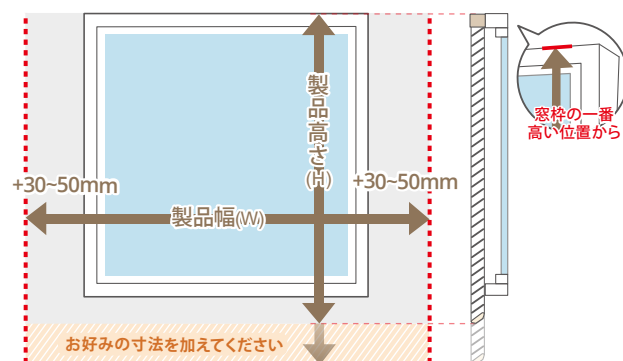
- 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
- コードレスタイプは製品実寸のみで発注するため、最小寸法の幅サイズを20～30mm (片側10～15mm)を引くことを推奨します。
- 製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。



6-2 窓枠正面付け



または



製品幅

窓枠の外側寸法を両端から測定

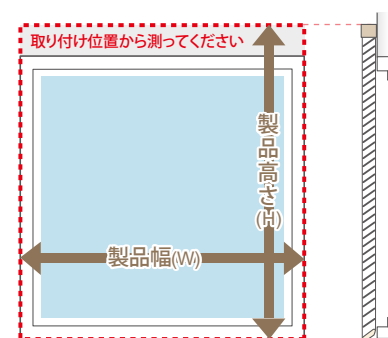
• 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30～50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。
ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

製品高さ

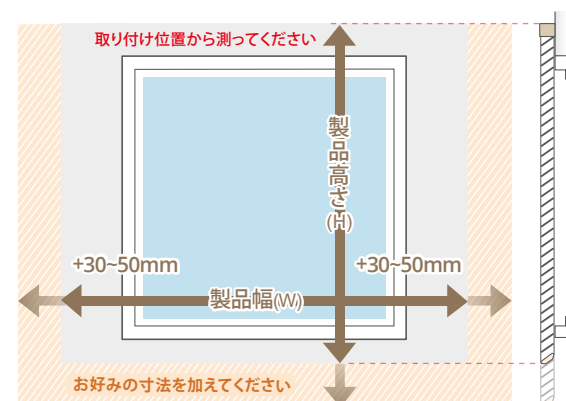
窓枠の外側寸法を両端から測定

• 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

6-3 壁面付け



または



製品幅

窓枠の外側寸法を両端から測定

- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
- 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30～50mmほど余裕をもたせることがおすすめです。
ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。

製品高さ

取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定

- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

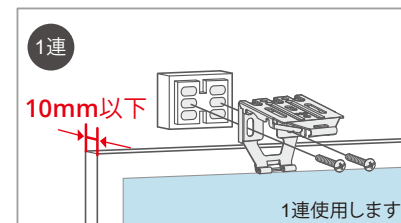
【窓枠のチリを逃がして取り付ける場合-ブラケットスペーサーの使用】

壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでブラインドの取り付けが可能です。

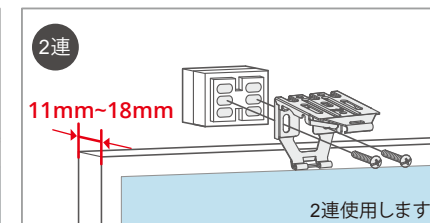
チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。

それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。

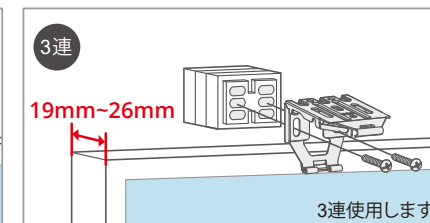
チリが10mm以下：1連



チリが11mm～18mm：2連

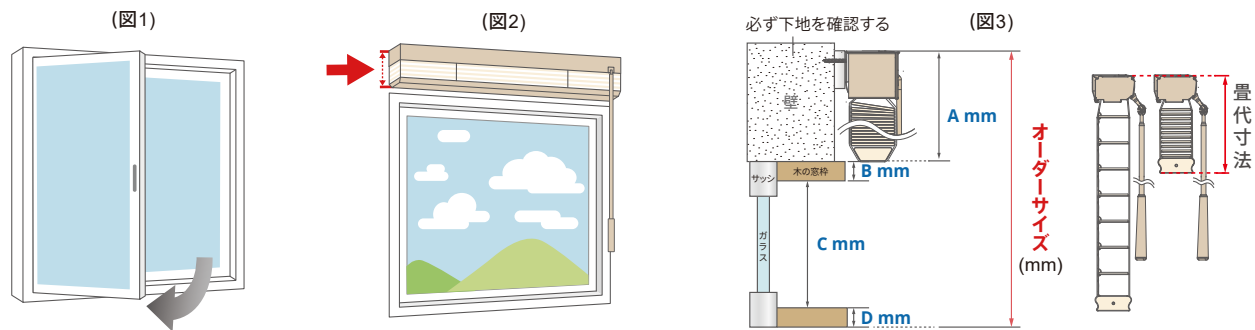


チリが19mm～26mm：3連



■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて

内開きの窓・網戸 (図1) がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合 (図2) は、採寸と取り付けの際、量代とブラインドを設置する高さにご注意ください。採寸の際に、下記の計算が必要となります。 ※ブラインドを上げきった位置が窓枠の上に収まる想定です



- ① 下地を確認する → ② オーダーサイズを算出 → ③ 製品量代算出し、取り付け位置を決める

■ オーダーサイズ算出式 (コードレスタイプ)

単位:mm

スラット幅	■ 桐ウッドブラインド	■ ウェスタンレッドシダーブラインド	■ グランドウッドブラインド
50mm	$(B+C+D+73.6364) / 0.9182$	-	$(B+C+D+73.8409) / 0.9205$
63mm	$(B+C+D+74.8618) / 0.9347$	$(B+C+D+74.8618) / 0.9347$	$(B+C+D+75.0317) / 0.9365$

■ A製品量代算出式

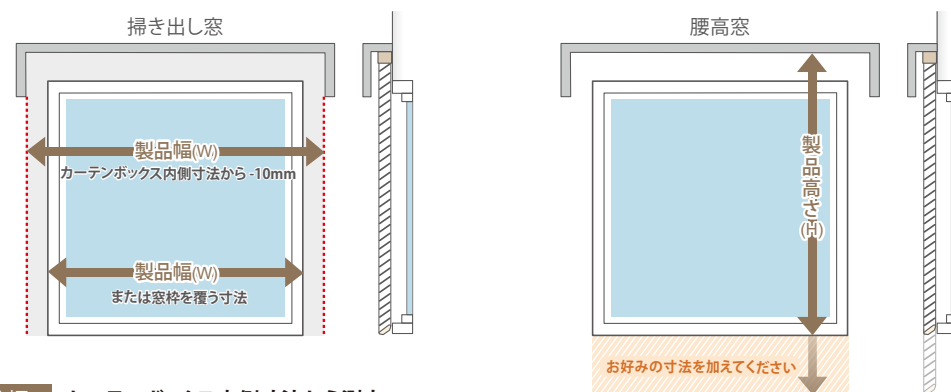
オーダーサイズを計算した後、製品の量代 (A) を計算する必要があります。木枠より量代 (A) 分上の位置にヘッドレール上面がくるように設置します。(図3参照)

単位:mm

スラット幅	■ 桐ウッドブラインド	■ ウェスタンレッドシダーブラインド	■ グランドウッドブラインド
50mm	$3.6 \times (\text{オーダーサイズ(mm)} - 90) / 44 + 81$	-	$3.5 \times (\text{オーダーサイズ(mm)} - 90) / 44 + 81$
63mm	$3.7 \times (\text{オーダーサイズ(mm)} - 94) / 56.7 + 81$	$3.7 \times (\text{オーダーサイズ(mm)} - 94) / 56.7 + 81$	$3.6 \times (\text{オーダーサイズ(mm)} - 94) / 56.7 + 81$

ご注意ください 数値はあくまで目安です。その寸法を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

6-4 カーテンボックス付け



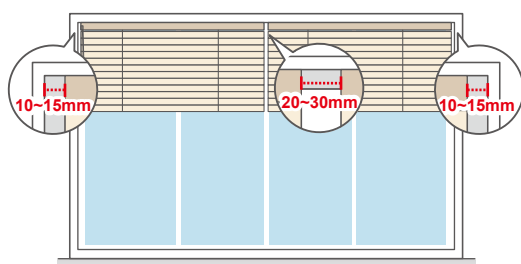
製品幅 カーテンボックス内側寸法から測定

・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。

製品高さ

取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定 ・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

6-5 大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合 (連窓仕様)



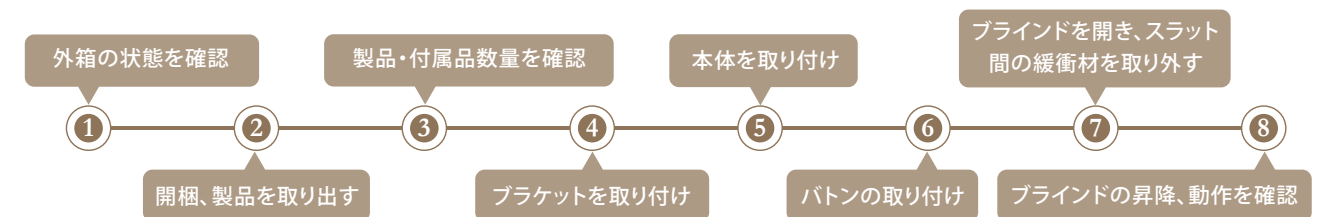
ご注意ください

※ 製品を並べて設置するとき、6mm以上の隙間が必要です。一般的な日本の窓枠では隙間10mmを推奨しております。

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること		
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること		

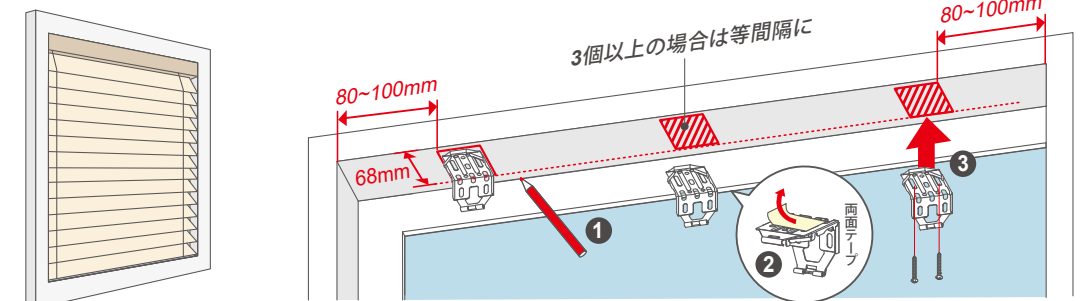
7-1 取り付けの手順



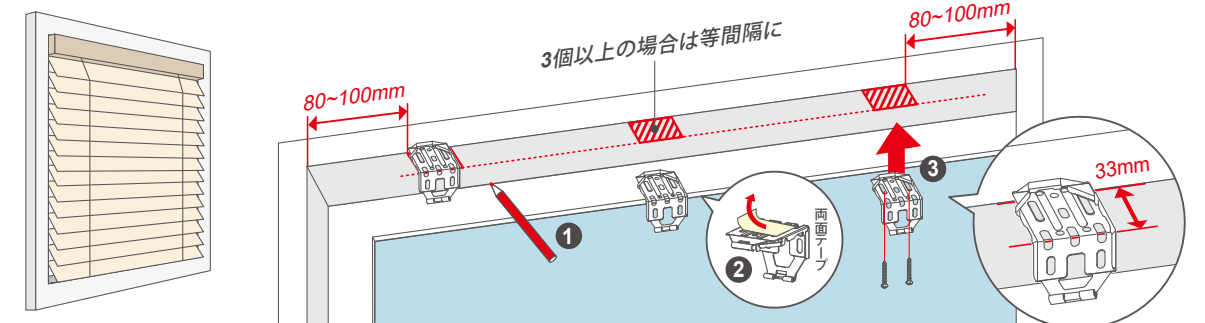
7-2 ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めブラケットをヘッドレールの両端部から約 80~100mm 内側に両面テープで仮止めしてください。
- 各ブラケットが左右平行 (水平) になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。(下記参照) ブラケットを 3 個以上の場合、中間とのブラケットの間隔が均等になるようにしてください。

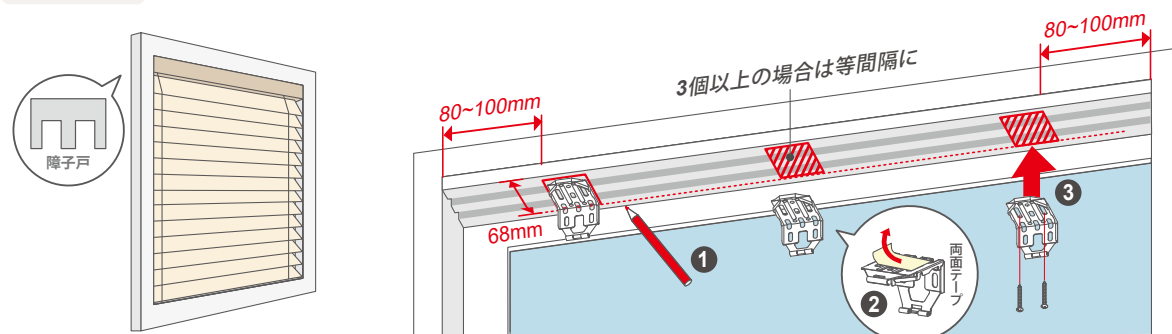
窓枠天井付け



浅天井付け

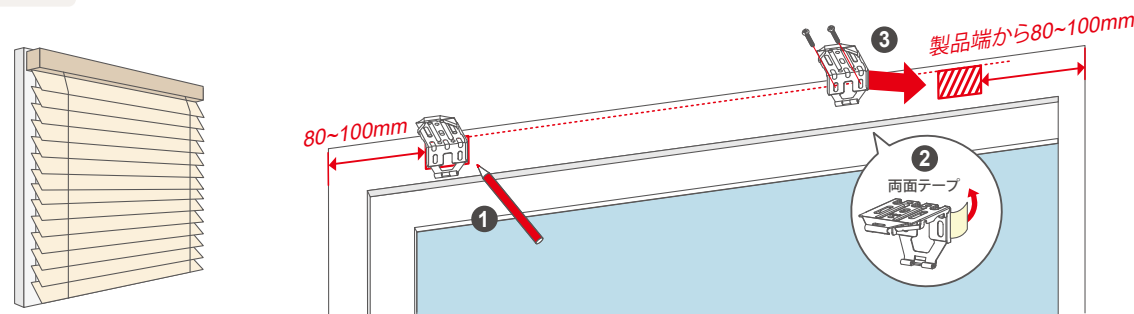


鴨居付け

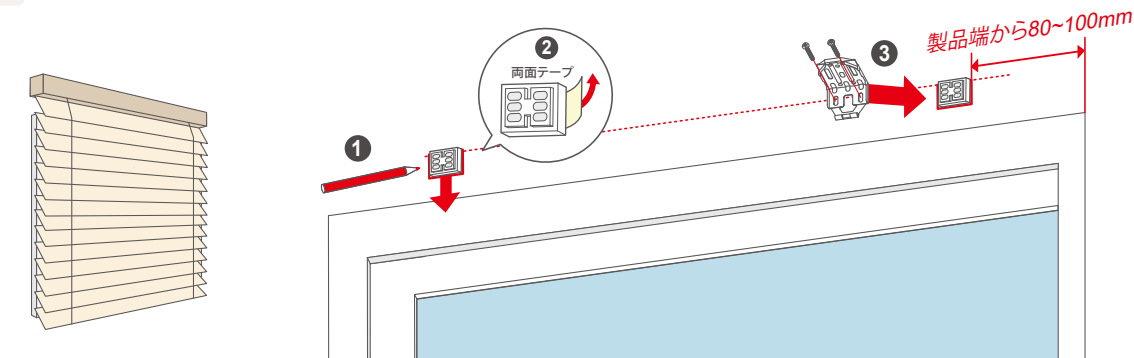


- ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所差し込み固定してください。
※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

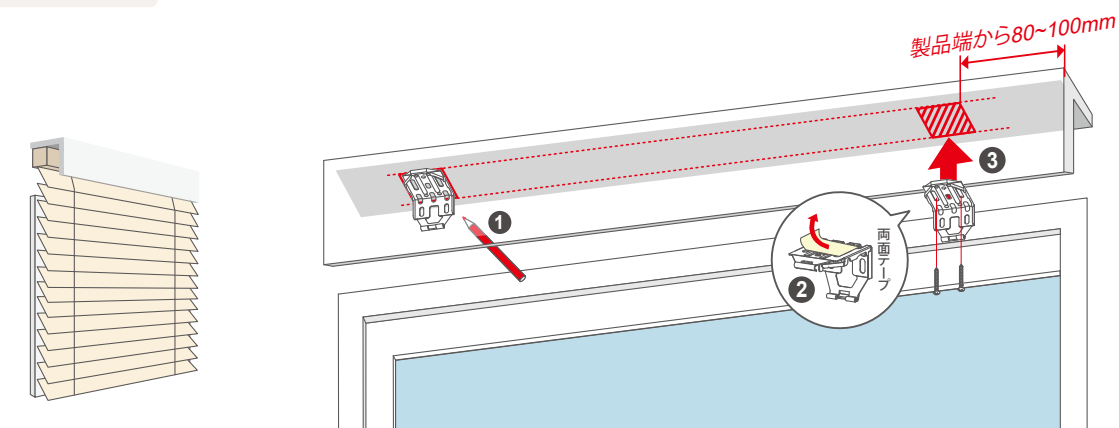


壁面付け



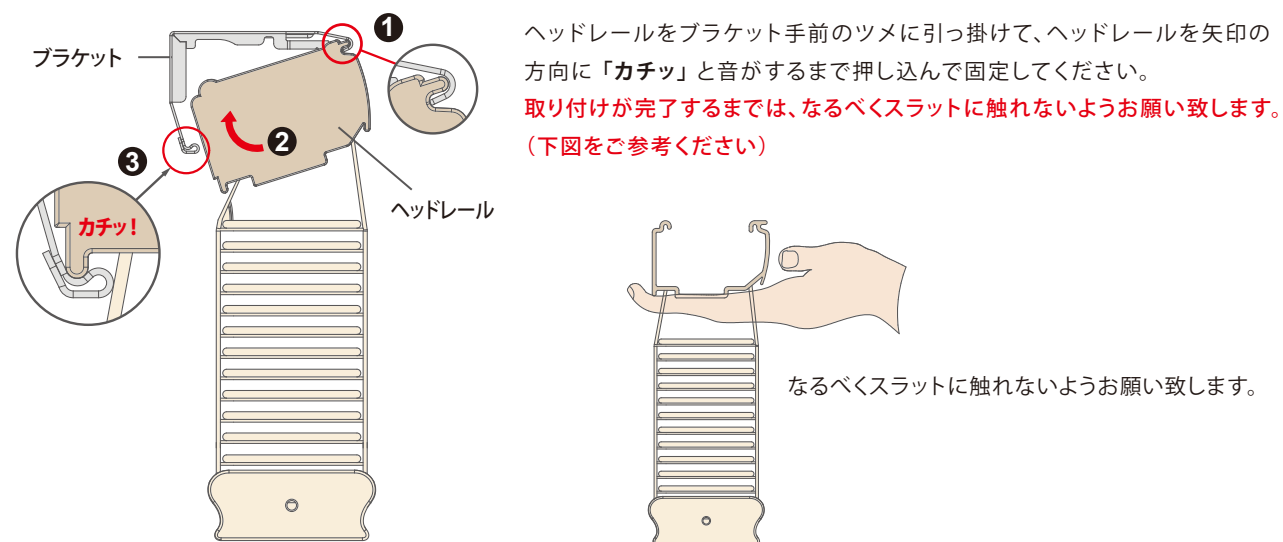
- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。

カーテンボックス付け



7-3 ブラインドの取り付けと取り外し

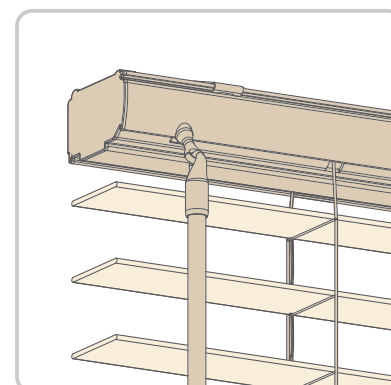
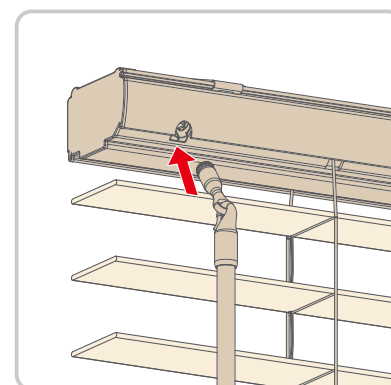
7-3-1 ヘッドレールの取り付け



- 製品本体を取り付けるときは、本体がブラケットにしっかり固定されていることを必ず確認してください。取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。製品の幅が短い場合、取り付け時にヘッドレールがしなり難い状況もございます。その場合は強めに押し込んでください。ハンマー等で叩くとブラケットが変形し、取り付けが困難になる場合がございます。

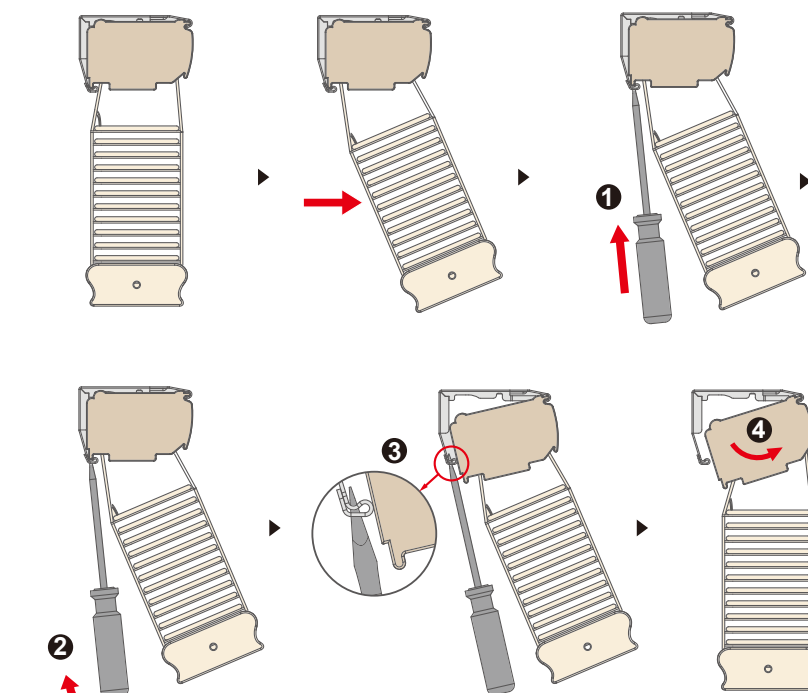
7-3-2 バトンの取り付け

ヘッドレールの正面の取付穴にバトンを取り付けます。



7-3-3 ブラインド本体の取り外し方

マイナスドライバーをブラケットの後方隙間へ差し込み、図①～④の手順でヘッドレールの後方に掛かっているツメを外します。ヘッドレールを④の方向へ外し、ブラインドをブラケットから取り出します。

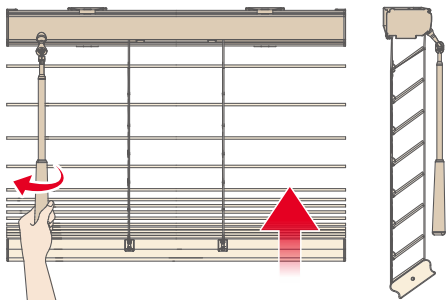


- ⚠️ ご注意ください ブラケットからブラインド本体を取り外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

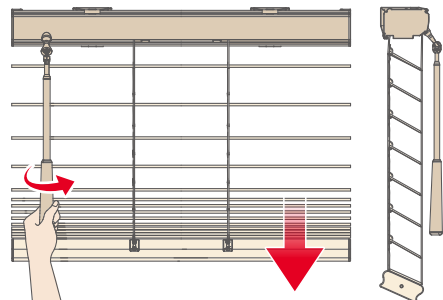
8-1 スラットの角度調整

バトンを回転させて、スラットの角度を自由に調整できます。

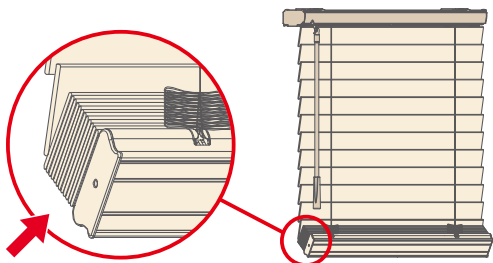
バトンを左に回す場合、スラットは上に向きます。



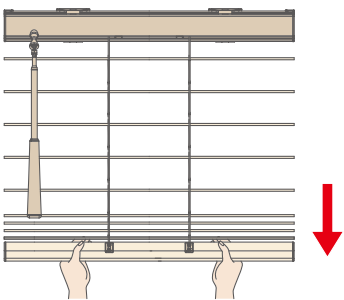
バトンを右に回す場合、スラットが下に向きます。



※ コードレスタイプは、調光時、下部のスラットとボトムレールと一緒に回転することで、各スラットがより密着するようになります。調光時、下部スラットと重なるようにボトムレールが巻き上がり傾斜が発生しますが、これは弊社の製品設計による正常な特性です。



8-2 ブラインドを降ろす場合



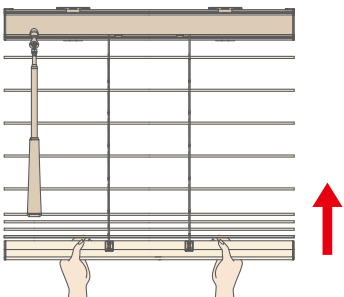
STEP1 スラットが水平になるよう調整し、両手でボトムレールをつかみます。

STEP2 両手で下に引いてブラインドを下ろしてください。手を止めた位置で止まります。



注意 下部コードの状態(ゆるみのある状態)について、これもスラットがスムーズに回転するための弊社の製品設計となります。このゆるみが無いと、スラットの回転がうまくいきません。

8-3 ブラインドを上げる場合



STEP1 スラットが水平になるよう調整し、両手でボトムレールをつかみます。

STEP2 両手でボトムレールを持ちながら上に上げてください。手を止めた位置で止まります。



注意 ブラインドが閉じた状態で上げ下げしないでください。故障の原因となります。

8-4 調光の際に、ボトムレールと一緒に回転しない場合

ブラインドを下げる際に、引く力が強すぎる場合、機構内部がロックされる可能性があります。その場合、ボトムレールと一緒に回転できなくなります。

修復方法 両手でボトムレールを軽く上に押し上げると、ロック状態が解除されます。

8-5 ブラインドを上げる際に、指定の位置で止まらない場合

ヘッドレール内部の紐が絡まっている可能性があります。

修復方法 両手でブラインドを軽く一番下まで引き下げます。スラットが水平位置の状態で、再度ブラインドを上げてください。

■ ループコードタイプ

幅					
取り付けタイプ		オーダー幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け・ 浅天井付け・鴨居付け・ カーテンレール付け (窓枠天井付け)	枠内実寸で発注	W	W-6	左側ヘッドキャップ（装飾部含む）端から、 右側ヘッドキャップ（装飾部含む）の端まで	± 3mm
	製品実寸で発注	W	W		
窓枠正面付け		W	W		
壁面付け		W	W		
カーテンボックス付け・ カーテンレール付け(カーテンボックス付け)		W	W		
高 さ					
取り付けタイプ		オーダー高	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け・浅天井付け・鴨居付け・ カーテンレール付け(窓枠天井付け)		H	H	スラットを閉じた状態でブラケット上端部から ボトムレール最下部まで	0 ～ +6.4mm
窓枠正面付け		H	H		
壁面付け		H	H		
カーテンボックス付け・ カーテンレール付け(カーテンボックス付け)		H	H		

※ 窓枠天井付け(浅天井付け・鴨居付け)、カーテンレール付け(窓枠天井付け)を製品幅実寸でご発注の場合はオーダー幅＝仕上がり幅となります。

■ コードレスタイプ

幅				
取り付けタイプ	オーダー幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け(鴨居付け)・浅天井付け	W	W	左側ヘッドキャップ端から、 右側ヘッドキャップの端まで	± 3mm
窓枠正面付け	W	W		
壁面付け	W	W		
カーテンボックス付け	W	W		
高 さ				
取り付けタイプ	オーダー高	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け(鴨居付け)・浅天井付け	H	H	スラットを閉じた状態でブラケット上端部から ボトムレール最下部まで	スラット 50mm：0～+44mm 63mm：0～+56.7mm
窓枠正面付け	H	H		
壁面付け	H	H		
カーテンボックス付け	H	H		



■ 日頃のお手入れは小型ぼうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。



■ 桐ウッドブラインド、ウエスタンレッドシダーブラインドのスラット(はね)は天然木なので、やわらかい布で乾拭きしてください。

■ スラットについて

- ① 製品の特性上、スラットは天然素材を使用しており、特に幅サイズの大きい製品はスラットの湾曲を100%防ぐことはできません。若干の湾曲があった場合でも、弊社の製品は品質管理基準のもと、出荷前検査にて許容範囲内に揃えます。室内が暗く、室外の光が強い場合、スラット間の光漏れが生じることがあります。特に淡色系カラーのスラットの場合は顕著に現れます。(図1)
- ② 天然素材を使用し製作されるため、素材の色や質、木目の現われ方に個体差がございます。塗装に濃淡が生じ、写真のような模様が現れる場合がございます。また、時間の経過と共に色味に変化が生じます。マットフィニッシュ シリーズは自然性の植物オイルを使用の為、木材の自然な特性の影響を受けやすく、各スラットによっても浸透度が違ってきます。製品の特徴と魅力の一つとしてお楽しみください。(図2)
- ③ スラットには木目の大きさ・密度の違いや木材の節などにより違いが出てくる場合がございます。(図3)
- ④ 木材の成長過程により、年輪や色の濃淡があり、特に濃い箇所は鉋物が比較的多く含まれます。この箇所では、風通しが良く湿度の低い環境下の使用でも、時間の経過とともにごくまれにスラットの色が濃くなったり、まだら模様が出る現象が起こります。特にステインカラーのND110ライムホホワイト、ND114トープは少し目立ち、その他のカラーは自然に見えます。この現象はカビではなく、木材に含まれる天然鉋物が表面に流れでたもので、あまり起こらない現象です。
- ⑤ グランドウッドのスラットは合成樹脂を使用しているため、52℃以上の高温環境下で使用すると変形する可能性があります。ご注意ください。西日が長時間当たる窓など、前述の高温環境が想定される窓にはグランドウッドブラインドはお勧めしておりません。桐ウッドブラインドをお勧めいたします。



天然無垢材の特性についてご理解の上、木目の個性的な表情をお楽しみください。

■ 特性について

- ① 昇降コードを通す穴(コードホール)をスラットの奥に設置しました。遮光性能が従来品と比較して飛躍的に向上しています。天然の木材を使用しているため、すべてのスラット同士が100%重なり、完全遮光することを保証できません。(図4) 特に下記の状況では重なり部分での遮光率が下がる可能性があります。 ※ノーマンスマートプライバシー機能は、スラットをすべて降ろした状態で行ってください。
- A. 幅や高さ寸法の大きなもの B. 淡色系カラースラットの場合 C. 直射日光の当たる環境でのご使用
- D. 写真のように、状況によって上部と最下部において数枚の重なり部分で遮光率は下がる可能性があります。(図5)



(図4)

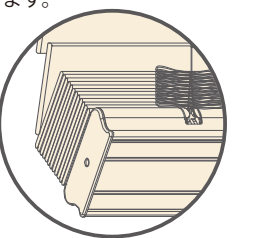
(図5)

- ② スラットを支えるラダーコードと昇降コードは、二台並べて設置する際に伸縮状況により左右のスラットが完全に一直線にならない可能性がございます。(図6)
- ③ ノーマンの横型ブラインドは、コード穴を特殊な配置設計にすることで「スマートプライバシー」という遮光機能を実現しています。スラット同士の密閉度を高めるため、スラットの左右両端だけにコード穴があります。ブラインドの各スラットは、コードで繋がれておりますが、昇降や調光操作をする際、スラットが左右にずれて、不揃いに見えることがあります。これは操作上起こりうる正常な製品状態です。
- ④ ブラインドを上げる際、ラダーコードはスラットと一緒に折り畳まれながら上に移動していきます。コードは柔らかい素材でできているため、畳まれ方が均一でなく、折り畳まれたラダーコードが左右対称にならないことがあります。これは正常な製品状態です。(図7)
- ⑤ ブラインドは上げすぎないようにしてください。快適にお使いいただける、上昇操作の限界位置の目安として、1枚目のスラットが余裕をもって回転動作ができる空間を残す程度が停止位置の目安です。(図8)



■ コードレスタイプ

- ① コードレスタイプは人それぞれ操作感が異なります。操作される人やブラインドのサイズなどによって異なります。似たようなサイズのブラインドでも、操作感に違いがでます。
- ② コードレスタイプは、調光時、下部のスラットとボトムレールと一緒に回転することで、各スラットがより密着するようになります。調光時、下部スラットと重なるようにボトムレールが巻き上がり傾斜が発生しますが、これは弊社の製品設計による正常な特性です。



製品保証

この度は、弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。

当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万が一、保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

注意：スラット（はね）、消耗部品（昇降コードなどのコード類）については、その保証期間を1年とさせていただきます。

3年保証に伴い発生する送料、取り外し、取り付け費用はお客様負担となります。

次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。

1. 誤った使用方法、誤った取り付け方法、または弊社が推奨しない修理や改造による故障および損傷。
2. 火災、地震、水害、落雷など天災地変による故障および損傷。
3. 特殊環境（極度の湿気、薬品、公害）による故障および損傷。

ノーマンジャパン株式会社

〒151 - 0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE 代々木 3 階

TEL : 03-3356-8688 HP : www.norman.co.jp

※ 各仕様は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。